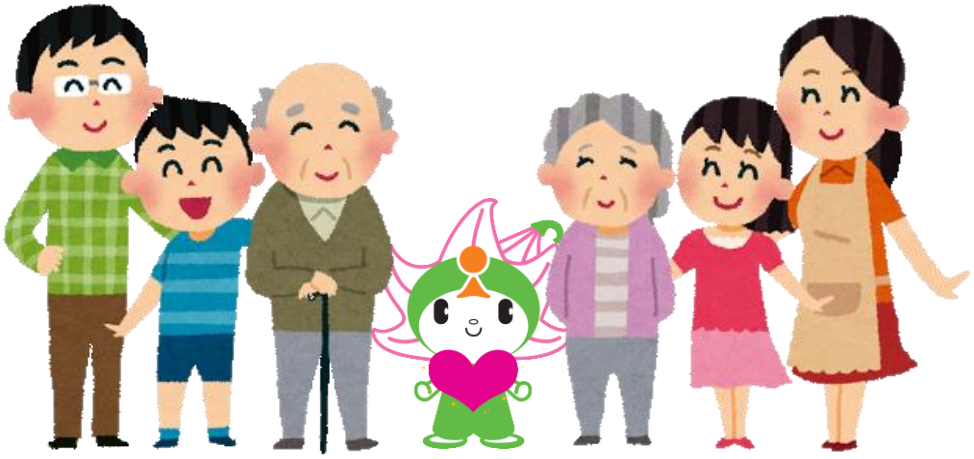
令和元年度

宍粟市地域包括支援センター事業実績

『高齢者が地域で生きがいをもち、
安心して暮らせるまちづくりをめざして』

― 令和２年6月作成 ―



宍粟市健康福祉部福祉相談課 宍粟市地域包括支援センター

― 目 次 ―

1.包括的支援事業（地域包括支援センターの設置・運営）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（1）地域包括支援センターの設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（2）地域包括支援センターの職員の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（3）地域包括支援センター運営協議会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

①宍粟市地域包括支援センター運営協議会・専門部会の構成員・・・・・・・・・・ 2

②宍粟市地域包括支援センター運営協議会・専門部会の開催状況・・・・・・・・ 3

（4）総合相談事業・・・ 4

2.介護予防・日常生活支援総合事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（1）介護予防・生活支援サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（2）一般介護予防事業（介護予防普及啓発事業）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

①介護予防教室(体操・脳トレ等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

②介護予防普及啓発・・・ 9

③健康教室・健康相談・・・ 9

（3）一般介護予防事業（地域介護予防活動支援事業）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

①いきいきクラブ(高齢者の通いの場づくり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

②いきいき百歳体操支援者育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

③いきいき百歳体操啓発事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（4）地域リハビリテーション活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

①いきいき百歳体操支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

②地域リハビリ連絡会・・・ 12

（5）高齢者口腔ケア体制整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

3-1.包括的支援事業（社会保障充実分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

（1）医療と介護の連携推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

①医療と介護の連携会議・・・ 13

②看取りの講演会・・ 13

③ケアマネジメントに必要な在宅医療講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

④医療と介護連携の啓発パンフレットの作成と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

（2）生活支援サービス基盤整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

①生活支援コーディネーター連絡会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

②生活支援コーディネーター啓発活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

（3）生活支援サポーター養成講座(人材育成)…… 16
3-2.認知症予防対策・支援事業…… 16
（1）認知症予防事業…… 16
①認知症啓発講座…… 16
②認知症予防教室…… 17
（2）認知症支援者育成事業…… 18
①認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座…… 18
②認知症キャラバン・メイト活動支援…… 20
③認知症専門職研修…… 20
（3）認知症介護者支援事業…… 20
①認知症カフェの開設…… 21
②認知症カフェ連絡会…… 21
③認知症高齢者等家族支援サービス事業…… 22
④認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク…… 22
⑤高齢者声掛け模擬訓練…… 22
（4）認知症初期集中支援チーム…… 22
（5）認知症施策検討会…… 23
3-3.ネットワーク構築事業…… 24
（1）医療との連携会議…… 24
（2）介護サービス事業者等との連携会議…… 25
（3）多職種連携会議…… 26
（4）地域ケア会議…… 26
①地域ケア個別会議の開催状況…… 27
②自立支援サポート会議の開催状況…… 27
③地域ケア推進会議の開催状況…… 27
（5）その他の会議等…… 28
①連絡会…… 28
②地域密着型事業所運営推進会議…… 28
③地域密着型事業所介護・医療連携推進会議…… 28
④社会福祉協議会との連絡会議…… 29
4-1.任意事業…… 29
（1）介護者支援事業…… 29
①介護相談…… 29

②介護者のつどい支援事業 29
③介護マーク交付事業 30
（2）在宅介護継続支援事業 30
①介護用品支給事業 30
②訪問理美容サービス 31
③家族介護慰労金支給事業 31
④住宅改修支援事業 31
⑤人生いきいき住宅改修事業 31
（3）人材確保施策・福祉資格取得助成事業 32
4-2.安心・安全の地域づくり事業 32
（1）要配慮者の災害時支援事業 32
①要配慮者災害時避難支援個別計画作成 32
②災害時保健活動マニュアルの整備 32
（2）高齢者見守り事業 32
①高齢者実態把握事業 32
②緊急通報システム設置事業 33
③救急医療キット配布事業 34
④地域自立生活支援事業（給食サービス） 34
⑤福祉電話設置事業 35
⑥高齢者地域支え合い活動事業 35
（3）福祉避難所の確保 35
（4）防災と福祉の連携促進モデル事業 35
4-3.権利擁護事業 36
（1）権利擁護相談 36
（2）成年後見制度利用推進事業 36
①西播磨成年後見支援センター事業 36
②成年後見制度啓発事業 38
③老人福祉施設への入所支援 38
（3）消費者被害防止啓発事業 39
①ネットワーク会議 39
②啓発活動 39
5.介護支援専門員活動支援事業 39
（1）介護支援専門員ネットワーク構築 39

（2）ケアマネジメント支援 40
①支援区分別活動実績 40
②宍粟市地域包括支援センターケアマネジャー勉強会 41
（3）指定居宅介護支援事業（介護予防ケアマネジメント） 42
①委託先事業所数 42
②介護予防支援計画作成数 42

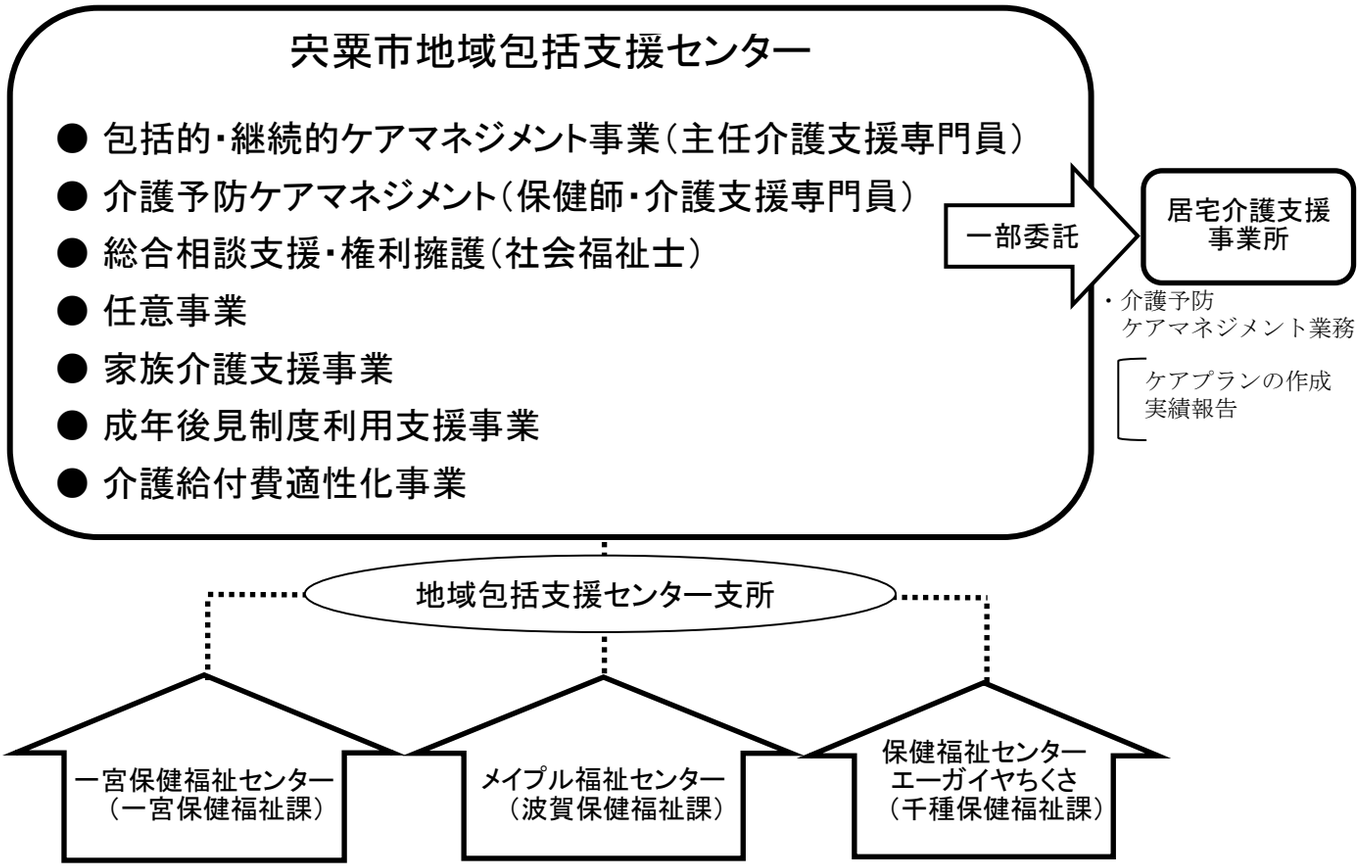
― 参考資料 ―

1．高齢者の状況 43
（1）人口・高齢化率 43
（2）世帯の状況 44
（3）人口・世帯の推移 45
2．介護認定の状況 46
（1）要介護認定者出現率（第1号被保険者に対する割合）の推移 46
（2）軽度要介護認定者出現率の推移 47
（3）新規認定者の状況 48
（4）要介護認定者の圏域別状況 49
（5）第1号・第2号被保険者の要介護認定者数の推移 49
（6）第2号被保険者の要介護認定状況 49
（7）要介護認定者と事業対象者の認知症・障害区分別人数 50

1.包括的支援事業（地域包括支援センターの設置・運営）

（1）地域包括支援センターの設置状況

中核的な役割を担う地域包括支援センターは市直営で１か所設置しています。また、市内全域で地域包括支援センター機能が行き渡ることを目的に、各保健福祉圏域（一宮、波賀、千種）の保健福祉課を地域包括支援センター支所（サブセンター）として位置づけています。



※各支所に保健師1名配置（地域包括支援センター支所業務他を担当）

（2）地域包括支援センターの職員の配置

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センターの機能強化を図るため、平成27年度より「認知症地域支援推進員」と「生活支援コーディネーター」を配置しています。

職　　種 （ 主な業務 ）	地域包括支援センター	一宮 保健福祉課	波賀 保健福祉課	千種 保健福祉課
保健師 (介護予防事業・連携会議等)	1	1 （兼務）		1 （兼務）
社会福祉士 （総合相談・権利擁護等）	3			
主任介護支援専門員 （ケアプラン作成・介護支援専門員支援等）	2 （1名主任ケアマネジャーに準ずる）		1 （兼務）	
介護支援専門員 （介護予防ケアマネジメント業務等）	4	1		1
認知症地域支援推進員 （認知症相談・施策推進等）	3 （2名兼務）	1 （兼務）		
生活支援コーディネーター （生活支援サービス基盤の整備・ネットワークの構築等）	1 （兼務）			
高齢者実態把握員 （高齢者世帯の生活状況の把握等）	2	2 （2名兼務）	2 （1名兼務）	1 （兼務）

（3）地域包括支援センター運営協議会の開催状況

地域包括支援センターの運営について、関係機関代表からなる17名の委員で協議、評価する場として運営協議会を設置しています。

宍粟市地域包括支援センター運営協議会には、介護支援専門員専門部会・認知症施策検討会の部会を設置しています。協議会での決定事項は各専門部会で協議され、各専門部会での意見は、宍粟市地域包括支援センター運営協議会で協議しています。

①宍粟市地域包括支援センター運営協議会・専門部会の構成員

会議名	委員の所属機関・団体		構成員数
地域包括支援センター運営協議会	①医師会	⑩介護者	17
	②歯科医師会	⑪社会福祉協議会	
	③薬剤師会	⑫医療機関	
	④司法書士会	⑬地域密着型サービス事業所（通所系）	
	⑤介護保険施設	⑭地域密着型サービス事業所（施設系）	
	⑥短時間通所サービス事業所	⑮居宅介護サービス事業所（通所系）	
	⑦民生委員・児童委員	⑯居宅介護サービス事業所（訪問系）	
	⑧第1号被保険者	⑰介護支援専門員専門部会	
	⑨第2号被保険者		
介護支援専門員専門部会	各事業所代表の主任介護支援専門員		4
認知症施策検討会	①介護支援専門員	⑥高次脳機能障害施設	10
	②認知症対応型通所介護サービス事業所	⑦ボランティア・コーディネーター	
	③認知症対応型グループホーム	⑧認知症キャラバンメイト	
	④認知症家族会会員	⑨地域包括支援センター（認知症地域支援推進員・保健師）	
	⑤介護者の会		

②宍粟市地域包括支援センター運営協議会及び専門部会の開催状況

令和元年度は宍粟市地域包括支援センター運営協議会を２回開催しました。
運営協議会には２つの専門部会を設置しています。各専門部会での協議結果は運営協議会に提案し、運営協議会での決定事項は各専門部会での取り組みとして協議します。 また、宍粟市地域包括支援センター運営協議会の委員は、地域ケア推進会議の構成員を兼ね、２つの会議を同時開催しています。

会　議　名	内　　容	開催回数
宍粟市地域包括支援センター運営協議会	【第１回】 令和元年6月25日（火）　宍粟市役所北庁舎 〇宍粟市地域包括支援センター運営協議会 平成30年度宍粟市地域包括支援センター事業実績について 令和元年度宍粟市地域包括支援センターの事業について ①保険者機能強化推進交付金事業について ②高齢者声掛け模擬訓練について ③自治会別地域カルテについて 災害時要援護者支援に関するモデル事業について	2回
	【第２回】 令和元年11月12日（火） 宍粟市役所北庁舎 〇宍粟市地域包括支援センター運営協議会 令和元年度上半期宍粟市地域包括支援センター事業実績について 〇宍粟市地域ケア推進会議 地域課題に対する支援体制について意見交換	
	【第３回】 令和2年3月10日（火）　宍粟市役所北庁舎 〇宍粟市地域包括支援センター運営協議会 地域包括支援センター運営協議会委員の委嘱について 令和2年度地域包括支援センター運営方針について 令和2年度地域包括支援センター事業計画について 介護予防プラン等の一部委託について 〇宍粟市地域ケア推進会議 地域ケア推進会議について説明 地域課題に対する意見交換 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
介護支援専門員専門部会	〇平成30年度活動報告 〇令和元年度活動方針と具体的な活動計画 〇研修会の企画・開催 ・介護支援専門員全員対象の研修会（3回コース） 〇地域ケア個別会議（自立支援型）開催推進検討 〇自立支援サポート会議の開催 〇医療と介護連携マニュアルについて	4回
認知症施策検討会	〇認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催について 〇認知症キャラバン・メイト連絡会開催・活動について 〇高齢者声かけ模擬訓練について 〇介護職員研修開催について 〇認知症カフェ開催・連絡会開催支援について 〇認知症施策PR番組（しそうチャンネル）作成について 〇認知症施策についての検討・実施報告	2回

（4）総合相談事業

総合相談事業は医療・介護・福祉サービスの調整や継続的な支援の最初の入り口となる業務です。
相談内容は、医療・介護・福祉・権利擁護・生活支援・消費者相談など多種多様です。相談の緊急性や家族の状況を考慮し、関係機関との連携によって必要な支援を提供しています。

＜相談窓口・形態別のべ件数＞

相談窓口	宍粟市地域包括支援センター	一宮保健福祉課	波賀保健福祉課	千種保健福祉課	計
訪問件数	5,554	2,604	682	1,326	10,166
来所相談	413	175	165	203	956
電話相談	846	275	163	234	1,518
計	6,813	3,054	1,010	1,763	12,640
関係機関からの相談	827	230	165	370	1,592

※健康管理システムから年間の実績を抽出したものです。
関係機関とは、介護支援専門員、医療機関、警察、介護サービス事業所、民生委員・児童委員等です。
関係機関からの相談件数は訪問・来所・電話相談とは重複していません。

＜年度別実績＞

相談形態	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
訪問件数	7,201	7,038	6,960	10,081	10,166
来所相談	1,200	1,251	1,252	969	956
電話相談	942	991	1,137	1,386	1,518
計	9,343	9,280	9,349	12,436	12,640

＜相談窓口・形態・年度別実績＞

相談窓口	訪問件数			来所件数			電　話			関係機関からの相談		
	H29年度	H30年度	R元年度	H29年度	H30年度	R元年度	H29年度	H30年度	R元年度	H29年度	H30年度	R元年度
宍粟市地域包括支援センター	4,334	5,968	5,554	309	291	413	460	693	846	509	677	827
一宮保健福祉課	1,241	2,204	2,604	519	330	175	277	306	275	357	859	230
波賀保健福祉課	528	692	682	184	173	165	205	143	163	381	193	165
千種保健福祉課	857	1,217	1,326	240	175	203	195	244	234	186	167	370
計	6,960	10,081	10,166	1,252	969	956	1,137	1,386	1,518	1,433	1,896	1,592

2.介護予防･日常生活支援総合事業

介護予防・日常生活支援総合事業は、高齢者の「介護予防」と「日常生活支援」を目的とした事業です。介護予防・日常生活支援総合事業では、高齢者がいくつになっても生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができる取り組みを進めます。

(1)介護予防･生活支援サービス事業

介護予防・日常生活支援総合事業は、訪問型サービスと通所型サービスが含まれます。

【 訪問型サービス 】

①介護予防訪問サービス

ホームヘルパーが訪問し、身体介護（入浴・排泄の介助等）や家事援助（掃除・洗濯・買物等）を行います。

②家事援助訪問サービス

ホームヘルパー等が訪問し、家事援助（掃除・洗濯・買物等）を行います。

③地域活動訪問サービス

住民やボランティアグループ等が、地域の総合事業対象者等に生活援助（ごみ出し等）を行います。

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護予防訪問サービス	364件	6,324,696円	1,092件	19,903,910円	1,125件	20,780,052円
家事援助訪問サービス	127件	1,395,683円	347件	4,515,748円	419件	5,759,068円
地域活動訪問サービス	2件	100,000円	2件	100,000円	3件	150,000円

【 通所型サービス 】

①介護予防通所サービス

通所介護事業所で生活機能を維持向上し、要介護状態を予防するための機能訓練等を行います。

②自立支援通所サービス

通所介護事業所で自立した生活の維持を目的とした体操やレクリエーション等を行います。

③短時間通所サービス

介護予防事業所で、体力の向上を目的とした運動プログラムを行います。

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護予防通所サービス	1,058件	24,166,458円	2,316件	53,575,591円	2,273件	52,382,367円
自立支援通所サービス	239件	3,379,340円	669件	10,747,431円	741件	12,520,460円
短時間通所サービス	9,945件	25,857,000円	10,773件	28,009,800円	10,595件	27,863,260円

＜事業対象者＞

基本チェックリストの項目に一定数該当した人は、事業対象者として総合事業を利用できます。要支援認定の人が更新申請時に認定を受けずに、基本チェックリストによって事業対象者となる人もあります。

圏域	山崎	一宮	波賀	千種	合　計
人数	129人	75人	63人	41人	308人

（令和2年3月末現在）

＜事業対象者の性別人数＞

性別	男性	女性	合計
人数	38人	270人	308人

（令和2年3月31日現在）

＜短時間通所サービス（ミニデイ）の利用者数＞

圏域	山崎	一宮	波賀	千種	合　計
人数	80人	62人	58人	33人	233人

（令和2年3月利用実績がある方）

※短時間通所サービス利用は事業対象者、要支援１、２の方が利用できます。

【　参考資料　】

基本チェックリスト

NO	質　問　項　目	回　答		該当
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	
2	日用品の買物をしていますか	0. はい	1. いいえ	
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	
6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	運動 3/5 以上 該当
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	
11	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ	栄養 2/2 該当
12	身長　　cm　体重　　kg　【BMI=体重÷身長÷身長】		18.5未満 該当	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ	2/3 以上 該当
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ	
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ	
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ	16に 該当
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	0. いいえ	1/3 以上 該当
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ	
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ	
21	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	2/5 以上 該当
22	（ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ	
23	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ	
24	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	
25	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	
				上記N 0.1～20で 10/20 以上該当

(2)一般介護予防事業(介護予防普及啓発事業)

様々な機会を利用して、健康づくりや介護予防を目的とした知識や実践方法の啓発普及を図ります。

①介護予防教室(体操・脳トレ等)

体力の向上や認知症予防を目的とした教室や講座を開催しています。

開催回数: 14回　　参加のべ人数: 717人

内　　容	対象者	参加人数
転倒予防講座　　山崎町葛根サルビア館 土万地区ひとり暮らし高齢者の集い～転倒防止について～ 〇転倒の原因・転倒予防のための環境 〇整備・転倒予防の運動 講師:地域包括支援センター保健師	ひとり暮らし高齢者 (土万地区) 土万地区役員	25人
「高齢者の食生活」講演　　センターいちのみや 「高齢者の食生活～暑さに負けないアクティブな体をつくるコツ～」 〇熱中症について 〇体力を作る食事 講師:兵庫県立大学大学院環境人間学研究科　永井紘太　氏	一宮高齢者大学 「いわみ学園」	95人
「高齢者の食生活」講演　　市民センター波賀 「高齢者の食生活～フレイル予防について～」 〇低栄養について 〇フレイルの予防と対策(食事) 講師:兵庫県立大学名誉教授・管理栄養士　伊達ちぐさ　氏	波賀高齢者大学 「かえで学園」	50人
介護予防イベント(1日目)　　イオン山崎店 〇いきいき百歳体操体験 〇健康相談 〇認知症相談 講師:地域包括支援センター職員	イオン来店者	5人
介護予防イベント(2日目)　　イオン山崎店 〇いきいき百歳体操体験 〇健康相談 〇認知症相談 講師:地域包括支援センター職員	イオン来店者	2人
いきいき百歳体操交流会(山崎)　　宍粟防災センター 〇作文朗読 〇講演「笑う門には福来る」 講師:健康運動療法士　田口たえ子　氏 山崎町内のいきいき百歳体操教室実践者が集まり、効果的ないきいき百歳体操の実践方法を学びんだり交流を図り、継続性を高める	いきいき百歳体操 教室登録者	160人

いきいき百歳体操交流会（波賀）　メイプル福祉センター 〇報告「みんなで楽しもう、いきいき百歳体操」 報告者：生活支援コーディネーター　猪尾公子　氏 〇講話「みんなでめざせ、いきいき百歳」 講師：管理栄養士　植田京子　氏 〇「みんな仲間だ　いきいき百歳体操教室」 講師：スポーツインストラクター　加藤智子　氏 波賀町内のいきいき百歳体操教室実践者が集まり、報告や講話で交流を図り、継続性を高める	いきいき百歳体操 教室登録者	40人
いきいき百歳体操交流会（千種）　エーガイヤちくさ 〇寸劇「続けようで　百歳体操」 〇講演「動いて笑って健康長寿」 講師：スポーツインストラクター　加藤智子　氏 千種町内のいきいき百歳体操教室実践者が集まり、寸劇やゲーム、講演などで交流を図り、継続性を高める	いきいき百歳体操 教室登録者	50人
いきいき百歳体操復習講座　山崎町須賀沢公民館 〇いきいき百歳体操のポイント説明 講師：地域包括支援センター職員	いきいき百歳体操 須賀沢教室	19人
テニスボール筋トレ　山崎町上寺公民館 〇テニスボールを使った効果的な筋トレ 〇いきいき百歳体操 講師：スポーツ推進係職員	いきいき百歳体操 上寺教室	16人
草木健康学習　一宮町草木公民館 〇栄養と歯科について	草木自治会	11人
あすなろ学級　千種町西山公民館 〇熱中症・認知症について	西山自治会	5人
シルバー人材センター健康教育　つちのこホール 〇健康管理・運動・認知症について研修 〇椅子でできる体操	シルバー人材 センター会員	34人
やまさき文化大学　山崎文化会館 〇知っておこう「成年後見制度」	やまさき 文化大学	205人
いきいき百歳体操交流会（一宮）　一宮保健福祉センター 〇交流会 〇認知症サポーター養成講座 ※　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	いきいき百歳体操 教室登録者	―

②介護予防普及啓発

介護予防番組放送　　しそうチャンネル ○智子の健康づくり（体力づくり編） 講師：スポーツインストラクター　加藤智子　氏	市内全域	―

③健康教室・健康相談

公民館等で老人クラブを対象に定期的な健康教室や健康相談を開催します。

開催回数：61回　　参加のべ人数：1,118人

内　　容	対象者	開催回数	参加人数
老人会クラブ健康教室　　各公民館 テーマ：こころと睡眠について 高齢期の栄養について 認知症について 高齢者のお口について 感染予防について インフルエンザ予防について 血圧の話	老人クラブ会員	61回	1,118人

※　新型コロナウイルス感染拡大防止のため数か所中止

(3)一般介護予防事業（ 地域介護予防活動支援事業 ）

高齢者が身近な場所で気軽に集まり、介護予防活動を実践する通いの場づくりを応援しています。地域で活動している団体に、講師派遣を行い、健康づくり・介護予防に関する30分程度のミニ講座を開催し、住民同士のつながりや、通いの場を地域に広める取り組みを行っています。

①いきいきクラブ（高齢者の通いの場づくり）

公民館等を活用して住民が主体的に運営する「通いの場」に、専門職等を派遣し、より効果的な場の運営を支援します。

開催回数：80回　　参加のべ人数：1,103人

内　　容	開催回数	参加人数
「知って得する」いきいき百歳体操 いきいき百歳体操の効果や動作の注意点の再確認についての説明 講師：セラピスト（宍粟リハビリ連絡会）	2回	17人
フレイル予防で健康長寿！ フレイル（虚弱）の自己チェックの方法や予防についての説明 講師：セラピスト（宍粟リハビリ連絡会）	3回	24人
脳トレでリフレッシュ＆認知症予防自分で出来る簡単ストレッチ体操 体とボールなどを使用し、脳トレと体操の実施 講師：スポーツインストラクター	11回	158人
しっかり噛んで元気で長生き 口腔ケアの必要性やブラッシング指導、口腔体操の実施 講師：歯科衛生士	7回	71人

手話を学ぼう！手話で歌おう！ 手話言語条例の説明、簡単な手話の体験、しーたん手話講座のお知らせ 講師：手話通訳者	1回	9人
手あそび、歌で、笑顔大作戦 懐かしい歌を歌ったり手遊び等の実施 講師：元音楽教師	16回	236人
知って守ろう！自分の権利 日常生活自立支援事業と成年後見制度についての説明 講師：社会福祉士	2回	30人
知ろう　学ぼう　消費者トラブル！ 消費者被害事例の紹介、悪質手口や詐欺への注意喚起について 講師：消費生活相談員	2回	32人
みんなで集まるって楽しいね！ 地域での支え合いや、人とのつながりの大切さについて 講師：生活支援コーディネーター	8回	130人
食で元気に！低栄養予防について 低栄養が引き起こす疾患や予防について紙芝居で説明 講師：栄養士	11回	137人
今日からできる認知症予防 認知症予防の考え方と日々の取り組みについて 講師：保健師他	5回	66人
元気でいきいき健康寿命をのばしましょう 健康寿命をのばすために大切な12の課題と処方箋について 講師：保健師他	4回	72人
転ばぬ先の用心！転倒予防 転倒の原因や予防の話と体操の実施 講師：保健師他	8回	121人

※　新型コロナウイルス感染拡大防止のため6か所中止

②いきいき百歳体操支援者育成事業

いきいき百歳体操教室は、老人クラブ等が主体的に運営していますが、教室運営の支援や正しい体操の指導を目的として、いきいき百歳体操インストラクターを派遣しています。 教室の活性化のみでなく、活動を通してインストラクターの生きがいづくりになっています。

	いきいき百歳体操 インストラクター	
	活動実人数	活動のべ回数
年間活動回数	6人	162回

※ インストラクターの研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

＜いきいき百歳体操実施状況＞ 令和2年3月末現在

	65歳以上人口	登録者数	登録者率	教室開設数	地域包括支援センター・ インストラクターの支援回数
山崎	7,477人	859人	11.5%	45箇所	74回
一宮	2,958人	679人	23.0%	38箇所	49回
波賀	1,423人	216人	15.2%	17箇所	29回
千種	1,180人	239人	20.3%	15箇所	21回
その他		22人		5箇所	ゆめふうせん・ひまわりの家・GHやまなか ケアハウス白寿・青い家
宍粟市	13,038人	2,015人	15.5%	120箇所	合計 ： 173回

③いきいき百歳体操啓発活動

いきいき百歳体操のＰＲ活動を目的に、土万（山崎）・斉木（波賀）のいきいき百歳体操教室を取材していただき今後しそうチャンネルで紹介予定です。

（4）地域リハビリテーション活動支援事業

地域で行われている介護予防活動の立ち上げ支援や教室のリーダーの養成や活動を支援します。宍粟市では平成26年度より、いきいき百歳体操教室を通して地域介護予防活動支援事業を実施しています。

①いきいき百歳体操支援活動

理学療法士や作業療法士がいきいき百歳体操の会場に出向き、より安全で効果的な運動を実践するための指導を行っています。専門職が教室に出向いて指導することは、参加者の意欲を高める上でも良い効果が期待できます。

内　　容	開催回数	参加人数
「知って得する」いきいき百歳体操 いきいき百歳体操の効果や動作の注意点の再確認についての説明 講師：セラピスト（宍粟リハビリ連絡会）	2回	17人
フレイル予防で健康長寿！ フレイル（虚弱）の自己チェックの方法や予防についての説明 講師：セラピスト（宍粟リハビリ連絡会）	3回	24人

②地域リハビリ連絡会

病院や診療所、介護サービス事業所のセラピスト（理学療法士・作業療法士）が、地域リハビリテーションに関わるための連絡会です。連絡会では、市が取り組もうとしている地域リハビリテーション活動支援事業等の介護予防施策について情報提供し、地域リハビリや自立支援に対してセラピストが担う役割と実践方法を検討しています。

内　　容	会場	参加のべ人数	開催回数
○いきいき百歳体操指導方法の検討 ○講話内容の検討 ○いきいき百歳体操体力測定の評価 ○自立支援型地域ケア個別会議への参加	市役所北庁舎	セラピスト25人 地域包括8人	3回

（5）高齢者口腔ケア体制整備事業

口腔機能の改善によって高齢者が会話や食事を楽しめるように支援するとともに、関係職種が連携を強め、口腔ケアサービスが地域包括ケアの一環として推進される体制づくりを目的としています。

内容	参加人数
歯科学術講演会　　宍粟防災センター 令和元年7月14日（日） テーマ:「 摂食・嚥下に必要な健康なかみ合わせ、健康な咀嚼 」 ～ 咀嚼能力から考えは始める高齢者の顎口腔機能 ～ 講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 咬合・有床義歯補綴学分野 教授 皆木省吾 氏	70人
地域歯科保健対策検討会議　　龍野健康福祉事務所 令和2年3月3日（火） ○令和元年度の取り組み報告及び令和2年度の計画 ○「高齢者口腔ケア地域定着推進」について ○乳幼児・学童期における歯科疾患予防について ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止	―
しっかり噛んで元気で長生きミニ講座（通いの場づくり支援事業）いきいき百歳体操教室 7会場 口腔ケアの必要性やブラッシング指導、口腔体操の実施 講師:歯科衛生士	71人

3-1.包括的支援事業（社会保障充実分）

宍粟市高齢者福祉計画及び第７期宍粟市介護保険事業計画（計画期間は平成30年度から令和2年度まで）は、「高齢者が地域で生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」を基本理念とした「地域包括ケア計画」です。計画に基づき地域や関係機関、行政が一体となり、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりを目指します。

(1)医療と介護の連携推進事業

宍粟市における地域包括ケアシステムの推進にあたり、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるように継続的な医療と介護の提供を行い、医療と介護関係機関が連携を図ることを目的とし、医師会、歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション等の医療サービスと介護サービスの関係機関で協議します。

①医療と介護の連携会議

医療と介護連携会議は、医療と介護の連携推進事業の方向性や具体的な施策を協議します。

<table>
<tr><th>内　　容</th><th>構成員</th></tr>
<tr><td>【第１回】 令和元年5月22日（水）　公立宍粟総合病院

〇協議・報告事項
①末期がん患者さんが『在宅生活をするための支援について』各関係機関よりそれぞれの立場で情報交換
②地域包括ケアに関する講演会の開催について検討
③高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について説明
④医師会と介護支援専門員との連携について（ケアマネタイム）</td><td rowspan="3">①医師会
②歯科医師会
③薬剤師会
④社会福祉協議会
⑤訪問看護ステーション連絡会
⑥介護支援専門員専門部会
⑦訪問介護サービス事業所
⑧通所介護サービス事業所
⑨介護保険施設連絡会
⑩公立宍粟総合病院
⑪兵庫県龍野健康福祉事務所
⑫宍粟市健康福祉部
⑬その他会長が必要と認める者</td></tr>
<tr><td>【第２回】 令和元年10月23日（水） 公立宍粟総合病院

〇協議・報告事項
①今年度の看取りの取組みについて、各関係機関と情報交換
②歯科医師会と介護支援専門員との連携について（ケアマネタイム）
③医療と介護のサービスマップの更新について</td></tr>
<tr><td>【第３回】 令和２年３月４日（水）　公立宍粟総合病院

〇協議・報告事項
①令和2年度の事業について
認知症予防健診について
フレイル健診について
身寄りのない方等への支援マニュアルについて

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td></tr>
</table>

②看取りの講演会

医療と介護連携会議では、地域包括ケアシステムの推進にあたり誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう医療と介護の連携を図れるように検討しています。今年度は、末期がん患者さん本人や家族が望んだ場所で、かけがえのない毎日を心豊かに生きるために、そして、いつか来る大切な日々のために、ホスピスケアを中心として人々の最期の日々を支え続けておられる医師の講演会を企画しました。

開催回数: 71回　　参加人数: 94人

内　　容	対象者	参加人数
令和元年9月21日（土）　宍粟防災センター テーマ:「まあるい死」 講師:野の花診療所　院長　徳永　進　氏	市民・専門職	94人

③ケアマネジメントに必要な在宅医療講座

医療との連携を図るために、介護支援専門員が必要な医療知識を得ることを目的に開催しています。令和元年度は、認知症のリハビリテーションモデルである兵庫県４DASを理解し、分類に応じた対応や多職種との情報交換に誰もが使用できるようになるため研修会を計画いたしましたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止となりました。

開催回数：―　　参加人数：―

内　　容	対象者
令和2年3月16日（月）　宍粟市役所北庁舎 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 内容：「ケアマネのための兵庫県4DAS基礎研修」 講師：柿木にんちしょう診療所開設準備室　代表　柿木達也　氏 NPO法人　認知症しあわせ計画　山口美保　氏	介護支援専門員 訪問看護師

④医療と介護連携の啓発パンフレットの作成と活用

医療と介護連携の必要性や医療介護の相談窓口を関係機関や市民に周知することを目的にパンフレットを作成しました。相談窓口は、宍粟市地域包括支援センター・各保健福祉課に設定しています。

(2)生活支援サービス体制整備事業

高齢者が自宅で暮らしていくには、様々な生活の困りごとが発生することがあります。生活を支援するサービスを対象者に応じて提供できる体制づくりは、生活支援コーディネーターが中心となり、地域づくりを視野に入れた取り組みを進めています。

①生活支援コーディネーター連絡会

宍粟市では、第1層に1名（地域包括支援センターに配置）、第2層に2名（宍粟市社会福祉協議会に委託）の生活支援コーディネーターを配置しています。第1層・第2層の生活支援コーディネーターの情報共有、情報交換、取組みの進捗管理を目的に、連絡会を開催しています。

連絡会は1層・2層の生活支援コーディネーター、宍粟市社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員が参加します。

開催回数：6回

内　　容
【第１回】 平成31年4月24日(水)　宍粟市役所北庁舎 〇平成30年度生活支援コーディネーター業務について 〇令和元年度生活支援コーディネーター業務について(提出書類の依頼と取組事項の確認)
【第２回】 令和元年5月29日（水）　宍粟市役所北庁舎 〇年間計画書の確認 〇地域見守り会議チェックシート項目の協議 〇地域の支え合い普及啓発PR動画の協議
【第３回】 令和元年6月20日（木）　宍粟市役所北庁舎 〇平成30年度第２層協議体の設置状況の確認 〇社会資源リストについて 〇支え合い普及啓発PR動画について 〇ご近所サポーター養成講座について
【第４回】 令和元年7月24日（水）　宍粟市役所北庁舎 〇生活支援コーディネーター業務の進ちょく状況について 〇セカンドライフ応援セミナーについて

【第5回】 令和元年8月29日（木）　宍粟市役所北庁舎 〇取組みの進捗状況の共有 〇今後の連絡会の開催方法について
【第6回】 令和元年12月13日（金） 宍粟市役所北庁舎 〇進ちょく状況の確認 〇下半期（今年度）の目標について

②生活支援コーディネーター啓発活動

生活支援コーディネーターの活動を円滑に実施するためには、市民や関係者に生活支援コーディネーターの役割を理解してもらうことが必要です。民生委員・児童委員や老人クラブ等の地区組織、ボランティアや介護サービス事業所等を対象に啓発活動を行いました。

今後も様々な機会を活用した啓発事業を展開し、生活支援を通じた「支え合いの地域づくり」への意識を高めます。

内　　容	対象者	参加人数
2019年度　上期地域ねっとわーく連絡会 平成31年4月24日(水)　コープこうべ宍粟組合員集会室 子育てひろば、高齢者集いの場、音楽のボランティアグループなど、宍粟市内で活動している会員が集まり、交流や情報交換を行い、今後の活動の活発化につなげる。	コープこうべ 担当組合員	10人
セカンドライフ応援セミナー　ご近所サポーター養成講座 【第1回】 令和元年8月31日（土）　一宮保健福祉センター 『地域をもっと元気に！～出来ることから始めてみよう～』 講師：栗木　剛　氏（Mottoひょうご事務局長） 【第2回】 令和元年9月7日（土）　メイプル福祉センター 手打ちそば作り　～「食」をテーマに地域交流～ 講師：波賀町今市自治会 【第3回】 令和元年9月13日（金）　宍粟防災センター 地域を元気にするために、まずは自分の健康から！ 講師：公立宍粟総合病院　脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師　清瀬いづみ　氏 【第4回】 令和元年9月20日（金）　宍粟防災センター 『元気な地域づくり』お手伝い 講師：生活支援コーディネーター	地域住民	33人
宍粟市老人クラブ連合会　支え合いの地域をつくる老人クラブ活動研修会 令和2年1月23日（木）　宍粟防災センター 支え合いの地域をつくる老人クラブ活動　～私たちの地域を支え合おう～	老人クラブ	160人
2019年度　下期地域ねっとわーく連絡会 令和2年2月4日（火）　コープこうべ宍粟組合員集会室 活動の振り返り 地域の課題に対する意見交換	コープこうべ 担当組合員	13人

令和元年度小地域福祉活動説明会 令和元年5月20日（月）山崎　宍粟防災センター 令和元年5月23日（木）千種　エーガイヤちくさ 令和元年5月24日（金）一宮　一宮保健福祉センター 令和元年5月24日（金）波賀　メイプル福祉センター 平成30年度小地域福祉活動の取り組み報告 地域の取り組みに関するアンケート調査「おしえてシート」について（報告） 令和元年度小地域福祉活動の取り組み・助成金の申請について 令和元年度福祉委員研修会について 認知症サポーター養成講座の紹介	各自治会の 自治会長と 代表福祉委員	350人

（3）生活支援サポーター養成講座 （人材育成）

一定の福祉及び介護に関する知識及び技術を習得し、高齢者への生活・介護支援サービスを提供できる人材の育成を目的とした講座です。講座修了者は生活支援サポーターとして、総合事業のうち、基準を緩和したサービスの担い手になります。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏構想連携事業として実施しています。

開催回数：2回　　修了人数：5人

講　座　内　容
【1日目】 令和元年11月6日（水）　たつの市新宮ふれあい福祉会館 〇職務の理解 〇介護におけるコミュニケーション 〇生活支援技術
【2日目】 令和元年11月7日（木）　たつの市新宮ふれあい福祉会館 〇老化の理解 〇認知症の理解 〇介護における尊厳の保持、介護の基本

3-2.認知症予防対策・支援事業

介護認定における認知症高齢者の日常生活自立度区分や日常の相談実績等からも、認知症ありと判定している高齢者は増加しています。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりやサービスの整備と共に、認知症の人やその家族の支援者を増やし、見守りや介護者支援を強化する取り組みを行っています。

（1）認知症予防事業

認知症やその予防に関する基本的な知識を得ることを目的として講座を開催しています。講座の対象は一般市民や職域等、幅広く行なっています。

①認知症啓発講座

認知症の基礎知識や介護等について学ぶことを目的としています。事業所や地区組織、学校等、多方面からの依頼があります。他の講座の中のプログラムとして設定されたものもあります。

開催回数：7回　　参加人数（合計）：272人

内　　容	対象者	参加人数
認知症講演会　令和元年5月16日（木）　宍粟防災センター テーマ：「認知症の最近の話題」 講師：医療法人古橋会　揖保川病院　院長　古橋敦夫　氏	市民・専門職	141人

認知症講座（宍粟市健康大学） 令和元年7月13日（土） センターちくさ ○地域で支える体制づくり ○認知症サポーターについて ○オレンジカフェの紹介 ○認知症予防について 講師：地域包括支援センター　保健師、認知症地域支援推進員	健康大学受講生	65人
認知症ミニ講座（通いの場づくり支援事業） いきいき百歳体操教室 5会場 ○認知症とは ○認知症の予防について 講師：保健師・認知症地域推進員	いきいき百歳体操教室参加者	66人
認知症施策PR番組放送 しそうチャンネル ○認知症はこわくない（垣尾院長講話） ○認知症はこわくない～オレンジカフェ～ ○認知症はこわくない～認知症サポーター養成講座～ ○にこにこしそうで声かけ模擬訓練 ○宍粟市健康大学	市内全域	―

②認知症予防教室

高齢者のみでなく認知症予防への関心は高まっています。　平成29年度から新たな運動教室を取り入れ、比較的若い年代を対象とした認知症予防教室を開催しました。令和元年10月からは山崎と波賀の2会場でそれぞれ月に2回開催しています。

開催回数：31回　　参加人数（合計）：264人

内　　容	対象者	参加人数
コグニサイズ教室 宍粟防災センター メイプル福祉センター 講師：コグニサイズ指導員　加藤智子　氏 ※コグニサイズとは、認知症予防を目的とした脳活性化 プログラムです。ステップなどの運動と計算などの課題を同時に行うことで、記憶力の向上や認知機能の改善を図ります。	概ね60歳以上	264人

※新型コロナウイルス感染拡大防止により5回中止

＜年度別実績＞

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
認知症啓発講座	3	509	13	975	17	1,159	14	343	7	272
認知症予防教室	0	0	0	0	20	113	22	162	31	264
計	3	509	13	975	37	1272	36	505	38	536

（2）認知症支援者育成事業

認知症を理解し、地域で暮らす認知症高齢者やその家族への支援者を増やすことを目的に、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症キャラバンメイト養成講座を受講した認知症キャラバン・メイトが講師となり、金融機関職員、教職員、小学生、高校生、ボランティアグループ等を対象に実施しました。また継続的な学びの場として認知症サポーターへのステップアップ講座を開催しています。

①認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、認知症のひとや家族を温かく見守り、支援する応援者です。養成講座の修了者には、「オレンジリング」を交付し、サポーターとしての認識をより高めます。

※宍粟市の認知症サポーター数
令和2年3月末現在：3,372人

講師

認知症キャラバンメイトとは？

養成講座の修了者には、「修了証」を交付し、登録番号を付与しています。
認知症に関するより専門的な知識を持ち、認知症サポーター養成講座を企画・実施します。

※宍粟市の認知症キャラバン・メイト数
令和2年3月末現在：64人

【認知症サポーター養成講座のプログラム】

（1）認知症サポーターとは
（2）認知症を理解する
　〇認知症とは〇早期発見・治療・予防
（3）グループワーク（事例を通して）
（4）グループ発表
（5）サポーターとしてできること

【認知症サポーターステップアップ講座のプログラム】

（1）認知症を理解する
（2）認知症の人の思いを考える
（3）認知症サポーター活動
　〇認知症の予防〇市の認知症に関する取り組み
（4）グループワーク
（5）グループ発表

＜認知症サポーター養成講座開催実績＞

開催回数：21回　　参加のべ人数：655人　　ｷｬﾗﾊﾞﾝ・ﾒｲﾄ従事のべ人数：70人

	対　象　者	会　場	開催回数	参加人数	ｷｬﾗﾊﾞﾝ・ﾒｲﾄ従事人数
1	福田老人クラブ	福田公民館	1回	43人	4人
2	出石子供会	出石公民館	1回	31人	3人
3	三津自治会	三津公民館	1回	16人	2人
4	西兵庫信用金庫職員	にししん本店	1回	23人	3人
5	神野小学校6年生	神野小学校	1回	30人	4人
6	千種民生委員・児童委員	エーガイヤちくさ	1回	34人	3人
7	山崎民生委員・児童委員の会	ひまわりの家	1回	13人	3人
8	下町自治会	下町公民館	1回	38人	3人
9	第一生命職員	第一生命宍粟店	1回	38人	4人
10	谷自治会	谷公民館	1回	43人	4人

11	五十波自治会	五十波公民館	1回	33人	3人
12	千種小学校5年生	千種小学校	1回	16人	3人
13	はりま一宮小学校5･6年生	はりま一宮小学校	2回	85人	8人
14	上ノ下自治会	上ノ下公民館	1回	23人	3人
15	山崎町声かけ訓練	山崎町泉龍寺	1回	42人	3人
16	山崎西小学校6年生	いこいの家土万	1回	23人	5人
17	山崎小学校6年生	山崎小学校	2回	62人	6人
18	JA兵庫西組合員	川戸公民館	1回	22人	3人
19	ふるさと神野を考える会	田井公民館	1回	36人	3人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止（一宮いきいき百歳体操参加者）

＜年度別実績＞

年　度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	6回	14回	16回	22回	19回	21回
参加人数	142人	391人	426人	562人	527人	651人

＜認知症ステップアップ講座開催実績＞

開催回数：3回　　参加のべ人数：11人　　ｷｬﾗﾊﾞﾝ･ﾒｲﾄ従事のべ人数：7人

	対象者	会場	開催回数	参加人数	ｷｬﾗﾊﾞﾝ･ﾒｲﾄ従事人数
1	ステップアップ講座１	一宮保健福祉センター	1回	6人	3人
2	ステップアップ講座２	市役所北庁舎	1回	4人	3人
3	ステップアップ講座３	宍粟防災センター	1回	1人	1人

②認知症キャラバン・メイト活動支援

認知症キャラバン・メイトの事後研修や活動への参加意欲を高めることを目的とした連絡会を開催しています。様々な事業所や職種が認知症の人への支援を検討し情報交換することで、多面的な認知症施策の検討を行っています。

開催回数：2回　　参加のべ人数：19人

教室名・内容	担当スタッフ	参加人数
第1回　認知症キャラバン・メイト連絡会　　市役所北庁舎 ①令和元年度認知症サポーター養成講座開催計画 ②認知症サポーターステップアップ講座について ③部会活動	認知症施策検討会メンバー4人 地域包括支援センター2人	15人
認知症キャラバン・メイト連絡会（子供対象講座ツール部会）　市役所北庁舎 ①講座内容の検討 ②小学生対象の養成講座への認知症サポーター参加体制づくり	認知症施策検討会メンバー1人 地域包括支援センター1人	4人

③認知症専門職研修

認知症の人に関わる専門職のスキルアップを目的とした研修です。事業所や施設の介護職職員を対象に、認知症施策検討会のメンバーが企画、開催しました。

開催回数：1回　　参加のべ人数：38人

教室名・内容	講師・スタッフ	参加人数
兵庫県4DAS研修　　市役所北庁舎 ①兵庫県4DAS（認知症機能訓練システム）とは ②認知症の理解と4DASタイプの理解 ③対象者理解のためのアセスメント ④実践者からの報告	・兵庫県健康福祉部参事兼認知症対策室長 柿木達也　氏 ・まどか園 上山安博　氏 ・NPO法人認知症しあわせ計画 山口美保　氏	28人

（3）認知症介護者支援事業

①認知症カフェの開設

認知症カフェは認知症の人と家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場所です。認知症カフェでは、認知症の相談や情報交換、認知症の学習、地域との交流を行っています。認知症の有無に関わらず、誰でも気軽に参加できる場を目指しています。

	会　場	内　容	開催日	包括スタッフ参加回数
1	ひまわりの家	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○音楽療法 ○茶話会	毎月 第2火曜日	8回
2	グループホームやまなか	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第1木曜日	9回
3	ふる里	○認知症の相談 ○認知症の学習 ○茶話会	毎月 第3水曜日	―
4	白樺	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第4月曜日	9回

5	ホット・カレン	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第1金曜日	1回
6	保健福祉センター エーガイヤちくさ	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	奇数月 第2木曜日	5回
7	青い家	○認知症の相談・学習 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第3土曜日	―
8	ぼうしや薬局	○認知症の相談 ○認知症予防体操 ○茶話会	偶数月 第1日曜日	―
9	ひなたぼっこ	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第2木曜日	1回
10	デイサービス大谷・田井	○認知症の相談 ○認知症介護者交流 ○茶話会	毎月 第2日曜日	―

②認知症カフェ連絡会

認知症カフェ主催者の情報交換の場として開催しています。それぞれのカフェで行っていることや困りごとなど話し合い主催者同士の連携を築きます。

開催回数：1回　　参加のべ人数：8人

教 室 名 ・ 内 容	担当スタッフ	参加人数
認知症カフェ連絡会　　市役所北庁舎 ①認知症カフェ紹介 ②認知症カフェの周知について ③意見交換	5人 地域包括支援センター3人	8人

③認知症高齢者等家族支援サービス事業

外出時に行方不明になる可能性がある高齢者にＧＰＳ専用端末機を貸与し、本人が携帯することでパソコンや携帯電話から専用端末機の場所（居場所）の確認ができ、所在不明になることを防止します。

＜利用実績＞

利用件数 （平成30年度末）	令和元年度実績			削除した理由
	新規申請件数	削除件数	利用件数	
2件	0件	2件	0件	施設入所、死亡

④認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク

外出時に行方不明となる可能性のある認知症高齢者本人に関する情報を事前に登録します。その情報をネットワーク機関で共有し、関係機関の協力による日常業務や生活を通じた目配りに よって、認知症の人がひとりで安心して外出ができるための見守りを行います。

事前情報は警察等と共有し、もし認知症の人が行方不明になる等の緊急時には、地域包括支援センターから関係機関に捜索を依頼し早期発見に努めます。

＜利用実績＞

利用件数（平成30年度末）	令和元年度実績			削除した理由
	新規申請件数	削除件数	利用件数	
21件	3件	4件	20件	施設入所、死亡

⑤高齢者声かけ模擬訓練

地域住民や関係機関が認知症を正しく理解し、地域で支え見守る意識を持ち、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。ひとり歩きをしている気がかりな高齢者に気づき、声がかけられるようにします。

開催回数：1回　　参加のべ人数：42人

教 室 名 ・ 内 容	担当スタッフ	参加人数
令和元年12月8日（日） にこにこしそうで声かけ模擬訓練 山崎町伊沢町・大歳町周辺 ①認知症サポーター養成講座 ②声かけ模擬訓練実施 ③意見交換	認知症キャラバン・メイト、関係機関、地域包括支援センター9人 認知症サポーター3人 宍粟警察署	42人

(4)認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームは、複数の専門職が家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（概ね6か月間）に行い、自立した生活をサポートします。

【参加スタッフ】

〇認知症サポート医
〇作業療法士
〇社会福祉士
〇認知症地域支援推進員
〇保健師

開催回数：11回　　検討のべ人数：27人 （新規： 7件　 継続： 20件 ）

内　　容	事例検討件数	
	新規	継続
【第1回】 平成31年4月16日(火)　宍粟市役所北庁舎 介護保険サービスの導入支援、モニタリング	0件	2件
【第2回】 令和元年5月21日（火）　宍粟市役所北庁舎 介護保険サービス導入支援、見守り体制	0件	1件
【第3回】 令和元年6月18日（火）　宍粟市役所北庁舎 介護保険サービス導入支援、病院受診勧奨、モニタリング	0件	3件

【第4回】 令和元年7月16日（火） 宍粟市役所北庁舎 専門病院の受診勧奨、家族支援	0件	2件
【第5回】 令和元年9月17日（火） 宍粟市役所北庁舎 病院受診勧奨、介護保険サービスの説明、運転免許返納支援、モニタリング	0件	4件
【第6回】 令和元年10月24日（木） 宍粟市役所北庁舎 介護保険サービス導入支援、服薬管理、主治医への情報提供	3件	2件
【第7回】 令和元年11月19日（火） 宍粟市役所北庁舎 モニタリング	0件	2件
【第8回】 令和元年12月17日（火） 宍粟市役所北庁舎 病院受診勧奨、服薬管理、介護保険サービスの説明	1件	1件
【第9回】 令和2年1月21日（火） 宍粟市役所北庁舎 介護保険サービス導入支援、家族支援	0件	3件
【第10回】令和2年2月18日（火） 宍粟市役所北庁舎 専門病院の受診勧奨・支援、介護保険認定申請の勧奨、家族介護支援	2件	0件
【第11回】令和2年3月17日（火） 宍粟市役所北庁舎 病院の受診勧奨、運転免許返納支援、社会参加への支援	1件	0件

(5)認知症施策検討会

認知症対策に特化した検討や事業企画を実施するための検討会です。認知症施策検討会での決定事項は、専門部会として宍粟市地域包括支援センター運営協議会に提案します。

開催回数：2回　　参加のべ人数：19人

内　　容	参加人数	会場
【第1回】 令和元年5月23日（木） ○認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催計画 ○しそうチャンネルでの認知症施策周知について ○高齢者声かけ模擬訓練開催検討 ○今年度認知症施策についての検討	8人	市役所 北庁舎
【第2回】 令和2年3月24日（火） ○認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の報告 ○今年度の認知症施策についての報告 ○認知症カフェ開催・連絡会開催支援 ○次年度認知症施策についての検討	11人	市役所 北庁舎

3-3.ネットワーク構築事業

訪問看護ステーション、公立宍粟総合病院等の医療機関、介護保険サービス事業所などの多職種と連携を図っています。

（1）医療との連携会議

会議名	内　　容	参加人数	開催回数	参加者
宍粟地域看護連絡会	○リーダー会 事業計画、研修企画と評価、実績報告	57人	5回	介護保険サービス事業所の看護師 介護職 公立宍粟総合病院の看護師 助産師 龍野健康福祉事務所保健師 地域包括支援センター・保健福祉課の保健師
	○研修会 【第1回】 令和元年7月18日（木） 「事例から考えるアウトブレイク対策」 講師：公立宍粟総合病院 感染管理認定看護師　城内美紀　氏 【第2回】 令和元年9月19日（木） 「多職種で考える看取りの関り」 ～人生の最終段階（エンドオブライフ）をケアできる人を目指して～ 講師：訪問看護ステーションたちばな 管理者　丹後ゆかり　氏 エンドオブライフ・ケア協会、ELCファシイリテーター 【第3回】 令和元年11月21日（木） 「脳から輝く私のためのセルフケアー」 講師：メンタルウェルネストレーニング協会 MWT認定上席指導講師　三鍋和美　氏 【第4回】 令和2年1月26日（木） 事例検討 「入退院を繰り返す事例を通して、これからの継続看護の課題を明らかにする」	146人	4回	
宍粟総合病院地域連携室との連絡会	○個別情報の共有（169件） ○退院調整、困難事例への対応 ○医療介護情報の共有	31人	11回	公立宍粟総合病院地域連携室 地域包括支援センター
西播磨認知症疾患医療連携協議会運営委員会	○センターからの情報提供 運転免許関連の実績報告 認知症対応力向上研修 認知症ケアセミナー 認知症家族教室 ○各市町の認知症施策の報告と意見交換 認知症初期集中支援チーム 認知症カフェ 介護者のつどい 若年性認知症施策 運転免許返納サポート事業	―	2回	西播磨認知症疾患医療センター 地域包括支援センター

西播磨圏域リハビリテーション連絡協議会	○圏域リハビリテーション支援センターの推進事業について ○事業活動報告、決算報告 ○西播磨圏域での在宅医療・介護連携の推進状況について ○リハビリテーション関係団体の活動について ○令和元年度地域リハビリテーション活動支援事業等におけるリハビリテーション職種のかかわり、市町の状況等の情報交換	32人	1回	公立宍粟総合病院地域連携室 地域包括支援センター

（2）介護サービス事業者等との連携会議

会　議　名	主な検討内容	主な参加者	開催回数
介護保険サービス事業所連絡会	○介護保険制度や介護サービスに関する情報提供 制度改正・新規事業所・職員異動・サービス内容等 ○給付管理票の交換と情報交換	市内または近隣市町の介護保険サービス事業者	12回
しそう訪問看護ステーション連絡会	○事業所の体制について紹介・意見交換 ○令和元年度活動内容の検討 ○医療と介護連携について意見交換 ○ヘルパーステーションとしそう訪問看護ステーションの合同研修企画・実施 ○医療請求について勉強会 ○各種研修参加者より報告と今後の研修会等の案内 ○事例検討	しそう訪問看護ステーション 地域包括支援センター	11回
しそうヘルパーステーション連絡会	○令和元年度活動内容の検討 ○しそう訪問看護ステーションとしそうヘルパーステーション連絡会合同研修 「看取りの”苦手意識”を”関わる自信”へ」 講師：コスモス・訪問看護ステーション 管理者　森蔭　都　氏	しそうヘルパーステーション 地域包括支援センター	3回
宍粟市グループホーム連絡会	○グループホームやまなかの施設見学 ○グループホームについての意見交換 施設入居状況や待機者の状況 介護職員の育成 入居対象者の認知症の確認方法について 感染症対策について 事故報告について 各施設の入居時の契約について	グループホーム 地域包括支援センター	1回

（3）多職種連携会議

開催回数：1回

会　議　名	内　　容	主な参加者
難病在宅療養支援 推進会議	○難病患者支援に向けた取り組みについて ○レスパイト入院に係る医療機関情報調査について ○在宅人工呼吸器装着難病患者災害対応マニュアルについて ○グループワーク 「災害に備えた神経難病患者の支援体制を考える ～レスパイト事前避難を中心に～」 助言者：医師会在宅医療担当（かかりつけ医）の 立場から 佐野内科ハートクリニック 院長　佐野一成　氏 助言者：専門医の立場から 県立リハビリテーション西播磨病院 副院長　水田英二　氏	ALSに関わる関係機関 医師会 薬剤師会 歯科衛生士 消防署 訪問看護ステーション 訪問リハビリ 居宅介護支援事業所 健康福祉事務所 神経難病医療 ネットワーク一般病院 神経難病医療 ネットワーク専門協力病院 市町保健部門 地域包括支援センター

（4）地域ケア会議

平成27年度より地域ケア会議が法制化され、「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」の2層の会議開催によって、地域包括ケアの体制づくりに向けた課題解決に取り組んでいます。

令和元年度から新たにケアマネジャーが自立支援・生活機能向上に向けたケアマネジメント支援を目的に多職種で自立支援サポート会議を開催しました。

会議名	内　　容	構成員・参加者	開催回数
地域ケア個別会議	個別の事例の課題を顕在化し、課題解決の方法を関係者で協議する。地域包括支援センターまたは各保健福祉課が主催します。	医療・介護関係機関 民生委員・児童委員 民生協力員 社会福祉協議会 自治会等 地区組織・住民 家族・親族等	23回 （24ケース）
自立支援サポート会議	ケアマネジャーがケアマネジメントをおこなう上で、自立支援・生活機能向上に向けたケアマネジメント支援をするために多職種で検討する。	理学療法士 作業療法士 栄養士 主任介護支援専門員 介護支援専門員 保健師 看護師 歯科衛生士	3回
地域ケア推進会議	個別課題から地域の課題を選び、地域の課題として解決するための施策化を検討する。	宍粟市地域包括 支援センター 運営協議会委員	2回

①地域ケア個別会議の開催状況

地域ケア個別会議は、宍粟市地域ケア個別会議実践マニュアルに基づき開催しています。検討事例は介護支援専門員または市から提供し、参加者は検討事例によって異なります。支援が困難な事例のみでなく、軽度の支援が必要な場合も地域ケア個別会議を開催することで、早期から近隣や関係機関等の支援体制を整えることができます。

自立に向けた支援体制を整えるためにも、ケア会議が有用であることを、引き続き介護支援専門員への啓発を行っていきます。

＜圏域別開催事例数＞

山崎	一宮	波賀	千種	計
13件	3件	6件	2件	24件

＜対象者の年代＞

～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～	計
0件	3件	5件	8件	5件	3件	24件

＜対象者の家族構成＞

ひとり暮らし	高齢者夫婦	その他	計
7件	7件	10件	24件

※その他は高齢者と障害者、子ども夫婦との同居

＜開催の依頼者＞

地域包括	ケアマネ	その他	計
7件	12件	5件	24件

②自立支援サポート会議の開催状況

多職種で、その人の持つ能力の維持・向上をはかる自立支援の考えに基づくケアプランの作成や具体的な支援方法を検討する。

＜圏域別開催事例数＞

山崎	一宮	波賀	千種	計
2件	0件	1件	0件	3件

③地域ケア推進会議の開催状況

宍粟市地域包括支援センター運営協議会と併せて同時に開催しています。

内　　容	委員参加人数
【第1回】 令和元年11月12日（火） 宍粟市役所北庁舎 地域課題に対する支援体制について意見交換 ①地域ケア会議の機能について説明 ②「おしえてシート」調査報告 ③波賀地区の現状について ④地域の抱える課題と社会資源マップについて ⑤地域ケア個別会議からみえてきたこと	25人
【第2回】 令和2年3月10日（火）　宍粟市役所北庁舎 地域ケア推進会議について ①地域ケア推進会議要綱について説明（今回の会議より新しい委員となる） ②今までに見えてきた地域課題と取り組みについて説明 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる	―

（5）その他の会議等

連絡会、会議等を開催しています。

①連絡会

会議名	検討内容	構成員・参加者	開催回数
地域包括担当者連絡会	○事業計画、事業報告 ○情報提供 ○研修復命 ○会議報告	地域包括支援センター 各保健福祉課	12回
精神保健福祉連絡会	○情報共有、事例検討（年間のべ件数168件） ○定例相談報告 ○事業報告 　アルコール関連事業、デイケア、専門相談等	龍野健康福祉事務所 保健福祉課 障害福祉課 各保健福祉課 地域包括支援センター	12回

②地域密着型事業所運営推進会議

地域密着型サービス事業所が、利用者、利用者家族、地域住民の代表者に対し、提供しているサービス内容を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで①事業所運営の透明性の確保②サービスの質の確保③事業所による「抱え込み」の防止④地域との連携の確保⑤介護と医療の連携確保を目的とし、地域密着型サービス事業所に運営推進会議の開催が義務付けられている。その会議に地域包括支援センターから職員が参加し目的が達成できるように支援している。
（宍粟市内事業所：通所介護サービス事業所16ヶ所、認知症対応型通所介護事業所1ヶ所、小規模多機能型事業所2ヶ所、認知症対応型共同生活介護事業所4ヶ所）

会議名	検討内容	構成員・参加者	開催回数
運営推進会議	○事業所の運営方針について ○サービス内容について ○地域との交流について ○地域との連携について ○意見交換 ○身体拘束について検討	各地域密着型事業所 自治会長 老人会長 民生委員・児童委員 介護支援専門員 利用者 利用者の介護者 地域包括支援センター 介護保険係	52回

③地域密着型事業所介護・医療連携推進会議

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所が、上記、地域密着型事業所運営推進会議同様の目的で、地域密着型事業所介護・医療連携推進会議の開催が義務付けられている。その会議に地域包括支援センターから職員が参加し目的が達成できるように支援している。（宍粟市内事業所数：1事業所）

会議名	検討内容	構成員・参加者	開催回数
定期巡回・随時対応型訪問介護看護しそうの杜	○事業の特徴について説明 ○実績報告 ○現状における課題について ○今後の取り組みについて	自治会長 青山センター山崎 訪問看護事業しそうの杜 定期巡回・随時対応型訪問介護看護しそうの杜 保健師	1回

④社会福祉協議会との連絡会議

宍粟市社会福祉協議会への委託事業について、業務内容の確認や実績確認、次年度事業について協議しています。

開催回数：1回

会議名	委託事業	参加者
社会福祉協議会と地域包括支援センターとの連絡会議	○地域自立生活支援事業（給食サービス） ○生活支援サービス体制整備事業 生活支援コーディネーター（2層） ○介護予防・生活支援サービス事業 短時間通所サービス（4事業所）	社会福祉協議会 地域包括支援センター

4-1.任意事業

（1）介護者支援事業

在宅で介護している介護者や家族への身体的・精神的・経済的負担の軽減を図り、在宅介護の継続を支援します。

①介護相談

介護に関する様々な相談を来所や訪問の場で受けています。介護相談では介護方法、介護保険サービスや権利擁護制度の紹介を行っています。相談を機に継続的な支援となり、家族全体に関わることが多くなっています。

＜相談実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実件数	1,415件	1,366件	1,221件	1,348件	1,212件	1,216件
のべ件数	2,834件	3,229件	3,831件	4,713件	5,112件	5,808件

②介護者のつどい支援事業

介護者が日頃の体験談や悩みを出し合う集いの場は、介護者の精神的負担を軽減し在宅介護の継続につながります。

開催回数：2回　　参加のべ人数：27人

教室名・内容	担当スタッフ	参加人数
デイサービスこころ家族会　デイサービスこころ ○介護体験・交流会	家族 デイサービス職員 地域包括支援センター	10人
グループホームやまなか家族会　グループホームやまなか ○介護者交流 ○終活ノートの書き方講座	外部講師 家族 グループホーム職員 地域包括支援センター	17人

＜年度別実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	6回	4回	10回	3回	1回	2回
のべ件数	104件	81件	87件	25件	9件	27件

③介護マーク交付事業

介護者特に男性介護者が介護中に偏見や誤解を招くことがないよう、介護中であることを周囲に知らせるための介護マークを希望者に交付しています。交付数はまだ少ないことから、効果的な周知方法を検討する必要があります。

＜交付対象別実績＞

	性別交付対象			介護者からみた要介護者の関係				
	総数	男性	女性	妻	夫	親	子	その他
H30年度まで	21件	19件	2件	14件	1件	1件	2件	3件
R元年度	1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
計	22件	20件	2件	14件	1件	1件	2件	4件

(2)在宅介護継続支援事業

①介護用品支給事業

要介護４または要介護５の要介護者を在宅で常時介護されている家族に対し、介護用品を支給します。平成28年度より年10万円の上限額を見直し、より利用しやすい目安として月8,000円を上限額に設定しています。支給用品の対象項目は、紙おむつ・清拭剤・使い捨て手袋・消臭剤・ドライシャンプー等です。

＜介護度別利用者数＞

	要介護4	要介護5	計
申請者数	8人	6人	14人
利用者数	8人	6人	14人

＜年度別利用実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	27人	19人	13人	14人	15人	14人

＜圏域別支給金額＞

	山崎	一宮	波賀	千種	計
利用者数	10人	1人	2人	1人	14人
支給金額合計	606,575円	1,620円	99,842円	23,610円	731,647円
利用者1人当りの支給額	60,658円	1,620円	49,921円	23,610円	52,261円

②訪問理美容サービス

寝たきりなど外出が困難な高齢者の自宅に理美容師が出向き、年間6回を上限に理美容サービスを提供します。理美容店には、1回2,000円の出張費を支払います。

＜介護･障害認定別申請者数＞

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	1種1･2級	計
申請者数	0人	3人	0人	7人	6人	0人	16人
利用者数	0人	2人	0人	1人	2人	0人	5人

＜年度別利用者数＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	27人	19人	13人	5人	8人	5人

＜圏域別支給金額＞

	山崎	一宮	波賀	千種	計
利用者数	3人	1人	0人	1人	5人
支給金額合計	20,000円	2,000円	0円	4,000円	26,000円

③家族介護慰労金支給事業

要介護３以上の要介護者を在宅で介護している介護者が、１年間介護サービスを利用せずに在宅介護を行った場合、年間10万円を支給します。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	0人	0人	0人	0人	1人	0人

④住宅改修支援事業

介護サービスを利用せず、住宅改修のみを希望の要介護等認定者の住宅改修理由書を作成した介護支援専門員に対して１件3,900円の作成料を支払います。

＜介護度別申請数＞

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
申請件数	0件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	3件

⑤人生いきいき住宅改修事業

日常生活に介護を要する高齢者及び身体障害者が住み慣れた住宅で安心して健やかな生活が送れるように、住宅を改造する費用の一部を助成する。

住宅改修にあたり、福祉関係職種、保健・医療関係職種、建築関係職種の専門職がそれぞれの立場で意見を述べ本人の状態にあった住宅改修となるよう支援している。

＜介護度別申請数＞

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身体障害者手帳	計
申請件数	1件	2件	3件	4件	4件	1件	1件	1件	17件

（3）人材確保施策・福祉資格取得助成事業

福祉資格を有する介護職員の増加、人材の確保及び定着を図るため、資格取得に要した経費の一部を助成します。この事業は、平成29年度より播磨科学公園都市圏域定住自立圏構想連携事業として実施しています。

助成件数	申請資格	助成総額	1人当たり助成額
14件	○初任者研修　3人 ○実務者研修　10人 ○介護福祉士　1人 ○介護支援専門員　0人	611,910円	43,708円

4-2.安心・安全の地域づくり事業

日常の生活や災害時の安全と安心を守るための事業です。

（1）要配慮者の災害時支援事業

①要配慮者災害時避難支援個別計画作成

宍粟市地域防災計画に定められた災害時要配慮者のうち要介護認定者・三障害者手帳所持者・難病認定者等を避難行動支援者として、避難支援計画を個別に作成しています。令和元年度末現在80人（同意あり：37人・同意なし：43人）作成し、定期的に新規対象者の把握と変更時の情報提供を行っています。

②災害時保健活動マニュアルの整備

西播磨圏域で保健師が連絡会を持ち、災害時保健活動マニュアルについて情報交換や意見交換を行いながら、マニュアルの見直しを進めています。

（2）高齢者見守り事業

高齢者特に高齢者のみ世帯の生活状況を把握し、安否確認や緊急時の対応ができるように平素からの関わりが必要です。

①高齢者実態把握事業

高齢者のみ世帯、介護認定の更新をしなかった高齢者などを、市の実態把握調査員が訪問によって生活の様子を把握し、何か困りごとがあれば相談に応じます。訪問対象者の状況によって関係機関と調整し、介護・福祉・医療のサービスにつないでいます。

一宮北中学校区は、地域包括支援センターのブランチ（まどか園在宅介護支援センター・みどり苑在宅介護支援センター）に委託していましたが、平成29年度より全市を直営で実施しています。

＜担当者別実績＞

担当	担当中学校区	実人数	のべ人数
宍粟市地域包括支援センター	山崎西・東・南中学校校区	1,628人	2,133人
一宮保健福祉課	一宮南中学校・一宮北中校区	856人	1,518人
波賀保健福祉課	波賀中学校区	302人	366人
千種保健福祉課	千種中学校区	441人	676人
	合計	3,227人	4,693人

＜年度別実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市が実施	4,005人	3,899人	3,550人	4,785人	4,900人	4,693人
委託実施	613人	605人	417人	－	－	－
計	4,618人	4,504人	3,967人	4,785人	4,900人	4,693人

②緊急通報システム設置事業

健康状態等から緊急時の対応が必要と思われるひとり暮らしの高齢者等を対象とした事業です。緊急時に機器のボタンを押すと委託先事業者に通報され、近隣の協力員の協力を得ながら緊急対応が迅速に行われます。

平常時には健康相談に対応するなど、ひとり暮らし高齢者等の不安感や心細さをやわらげ、安心して生活できることを目的としています。（緊急通報機器は、市から貸し出しますが、設置費は所得に応じ利用者負担があります。機器の利用にあたり、必要な電気代、電話機にかかる基本料金及び通話料は利用者負担です。）

＜保健福祉圏域別実績＞

	平成30年度末設置台数	令和元年度		
		新規設置	撤去	令和元年度末設置台数
山崎	83件	5件	12件	76件
一宮	57件	0件	10件	47件
波賀	32件	0件	2件	30件
千種	48件	0件	10件	38件
計	220件	5件	34件	191件

＜年度別実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
山崎	142件	117件	105件	98件	76件	76件
一宮	101件	87件	74件	69件	57件	47件
波賀	61件	54件	44件	39件	32件	30件
千種	71件	67件	61件	53件	48件	38件
計	375件	325件	284件	259件	213件	191件

＜月別受報状況＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数	月平均
正報件数	0件	2件	1件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	4件	11件	0.9件
救急搬送	0件	2件	1件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	3件	9件	0.8件
相談件数	17件	28件	31件	56件	31件	17件	17件	23件	32件	29件	12件	15件	308件	25.7件

③救急医療キット配布事業

救急医療キットは、かかりつけの医療機関や疾患、服用薬などの情報を記載した様式を冷蔵庫に保管し、救急搬送時などの医療情報として活用します。市民であれば年齢や世帯構成に関係なく希望者に配布します。

＜年度別実績＞

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
山崎	2,239件	2,335件	2,437件	2,569件	2,666件	2,741件
一宮	541件	543件	547件	570件	570件	571件
波賀	606件	606件	609件	610件	615件	615件
千種	188件	188件	189件	231件	232件	233件
計	3,574件	3,672件	3,782件	3,980件	4,083件	4,160件

④地域自立生活支援事業（給食サービス）

ひとり暮らしなど高齢者のみ世帯に対して、栄養バランスがとれた食事の確保と安否確認を目的として食事の配食をしています。事業実施は社会福祉協議会に委託し、安否確認時に気になることがあれば市に報告があります。

配食回数は全圏域週2回です。利用者は材料費等実費負担として１食400円を自己負担します。

＜配食数＞

	実施回数（回）		延べ配食数（食）		
	年間	月平均	年間	月平均	1回当たり
山崎	88	7.3	5,112	426.0	58.1
一宮	87	7.3	3,777	314.8	43.4
波賀	87	7.3	2,931	244.3	33.7
千種	88	7.3	1,919	159.9	21.8
計	350	29.2	13,739	1144.9	39.3

※　令和2年3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため給食サービスを中止とし、給食サービス利用日に合わせ社会福祉協議会の職員が電話等にて安否確認を実施した。

＜経年実績＞

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	配食回数	のべ配食数	配食回数	のべ配食数	配食回数	のべ配食数	配食回数	のべ配食数	配食回数	のべ配食数	配食回数	のべ配食数
山崎	73	5,918	72	5,168	73	5,102	95	6,397	97	6,799	88	5,112
一宮	97	4,002	95	3,665	96	3,868	97	3,790	97	4,248	87	3,777
波賀	97	3,921	94	3,763	96	3,066	97	2,630	95	2,602	87	2,931
千種	59	2,140	60	1,982	94	2,260	98	2,155	97	2,251	88	1,919
計	326	15,981	321	14,578	359	14,296	387	14,972	386	15,900	350	13,739

※令和元年度中の配食時異変に気付き対応したケース：7件

○ベッドから転落し動けなくなり体温低下があった。
　⇒担当ケアマネジャーへ連絡し、受診支援となった。
○利用者が、玄関の鍵を開けることができず炎天下の中途方に暮れていた。
　⇒担当ケアマネジャーへ連絡し、玄関の鍵を開ける事ができた。
○利用者が玄関先まで来れず、親戚とボランティアが自宅へ入ったところ動けずふるえていた。
　⇒息子へ連絡、息子の支援にて受診すると大腿骨骨折により入院となった。
○利用者不在。何度か社会福祉協議会職員が連絡するも不在。子供へ連絡する。
　⇒利用者が他県まで運転し、他県で事故をおこし警察から通報があった。

等の報告

⑤福祉電話設置事業

自宅に電話がなく低所得の高齢者宅に電話を設置し、基本料金を市が負担します。現在2人の利用者があります。

⑥高齢者地域支え合い活動事業

日頃、高齢者宅を訪問する機会の多い民間事業者と市が協定を締結します。事業者は日々の活動の中で高齢者の異変に気付いた場合には、速やかに市や警察等へ連絡し必要な支援につなぎます。

協力事業者に対して業務中に高齢者の異変に気づいた場合、市や警察等と連携を行った事案があるかどうか情報共有するためにアンケートを実施しました。

随時、協定を締結していただける協力事業者を募集しています。

○協定事業者　新聞、乳販、ガス、電気、宅配、金融、配食事業者等　　32事業者（69店舗）

令和元年度、１事業者新たに協定締結

宍粟市高齢者地域支え合い活動事業アンケート集計　31事業所中20事業所回答

	事業所種別	連携先	内　容
①	配食	市役所	個人宅へ弁当の配達に行ったが不在。自宅電話にも出られない。包括職員が自宅訪問し安否確認できた。
②	新聞	警察	新聞がたまっていた。
③	新聞	警察	夜中配達中に徘徊されていた高齢者を発見、通報。
④	新聞	同居家族	夜中配達中に車の下に潜り込んでいたところを助け、家族へ預けた（骨折、認知症状あり）。
⑤	配食	同居家族	自宅で転倒、起き上がれなくなっているところを発見。意識あり。すぐに家族と連絡取れ、家族から救急車を要請（脳梗塞で片麻痺の既往歴あり）。
⑥	新聞	近隣住民、消防	新聞が2、3日たまっていて、家に行くと高齢者が倒れていた。
⑦	乳販	別居の親族	認知症状が進み、同じ話を繰り返す。

(3)福祉避難所の確保

大規模災害等において、一般の避難所での生活が困難な要配慮者のための福祉避難所の確保は重要な課題です。市の施設で不足が生じたり開設できない場合等に、民間の福祉施設に協力を得るための協定を締結しました。

○協定事業者　市内の老人福祉施設、障害福祉施設　　8法人15施設

○協定締結日　平成27年8月20日　（10法人12施設）

平成28年2月12日　　（1法人2施設）

※平成29年6月に１法人1施設廃止

※平成30年10月に１法人1施設締結

※平成30年11月に１法人1施設締結

(4)防災と福祉の連携促モデル事業

災害時における要援護者の支援に備え、自主防災組織等による個別支援計画の作成を推進するため、福祉専門職と連携し実施しました。具体的には、自主防災組織及び住民に福祉理解研修を実施しました。福祉専門職を含めた関係者によるケース会議を開催し、個別支援計画を作成しました。防災訓練により、作成した個別支援計を検証しました。

○モデル自治会：　山崎町下町自治会　対象者3名

4-3.権利擁護事業

高齢者の生命と財産を守り、尊厳ある生活を高齢者が安心して送れることを目的としています。

(1)権利擁護相談

重複課題の家庭、支援者のないひとり暮らし等高齢者世帯の相談が増えています。地域包括支援センターのみでなく、多職種とのチーム支援が必要ですが、チームケアが機能するには、平素から他の職種や関係機関と連携を図っておくことが重要です。

＜相談内容別実績＞

相談内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
成年後見制度に関する相談件数	17件	10件	22件	11件	17件
成年後見制度の相談市町村申し立て支援の実件数	0件	0件	0件	1件	1件
高齢者虐待に関する相談のべ人数	36件	52件	33件	56件	39件
重複課題の家庭、支援拒否等、困難事例への対応件数	517件	529件	438件	356件	354件
消費者被害の事例について関係機関と連携をとった件数	2件	7件	1件	6件	3件

(2)成年後見制度利用推進事業

成年後見制度を市民に広く周知し、利用を希望する市民の相談、関係機関との調整、申立て費用や報酬の助成など、より市民が制度を利用しやすいように援助します。

①西播磨成年後見支援センター事業

西播磨４市３町（相生市・赤穂市・宍粟市・たつの市・太子町・上郡町・佐用町）で設置を協議してきた「西播磨成年後見支援センター」は、たつの市社会福祉協議会に委託し、平成28年5月1日に開設されました。成年後見支援センターでは、制度の啓発普及、相談、手続き支援、市民後見人養成・支援などの役割を担います。

＜啓発普及事業＞

開催回数: 2回　　参加人数: 202人

内　　容	対象者	参加人数
第1回成年後見制度普及啓発講演会 令和元年5月29日(水)　上郡町生涯学習支援センター 〇講演 テーマ「自分と家族の今後を考える成年後見制度」 講師:日本福祉大学権利擁護研究センター　上田晴男　氏 〇事例報告 アドバイザー:日本福祉大学権利擁護研究センター　上田晴男　氏 報告者:上郡町地域包括支援センター社会福祉士　横山一樹　氏 上郡町社会福祉協議会 日常生活自立支援事業専門員　竹内優紀　氏	福祉関係者 民生委員・児童委員 行政関係 一般市民	99人

第2回成年後見制度普及啓発講演会 令和元年11月19日（火） たつの市揖保川総合支所 〇講演 テーマ 第一部「相続の現場」 第二部「成年後見の実際」 講師：行政書士 中井 勉 氏	民生委員・児童委員 介護職 生活支援員 一般市民	103人

＜連携会議等＞

内　　容	参加者
西播磨成年後見支援センター運営推進担当者会議 【第1回】 令和元年6月4日（火） たつの市揖保川保健センター 〇成年後見制度利用促進基本計画・地域連携ネットワークについて 〇後見制度の相談があった際に、どのような流れで対応をしているか？ 【第2回】 令和元年8月8日（木） たつの市揖保川保健センター 〇6/4の振り返り 〇スケジュール（案）について、中核機関のグランドデザイン（案）の説明（要点） 【第3回】 令和元年9月17日（火） たつの市揖保川保健センター 〇市町よりセンターへの要望 【第4回】 令和2年1月30日（木） たつの市揖保川保健センター 〇ヒアリング結果報告、見えてきた課題 〇市民後見人の活用について	成年後見支援センター 4市3町担当者
西播磨成年後見支援センター運営推進会議 【第1回】 令和元年9月26日（木） たつの市揖保川総合支所 〇令和元年度事業の進捗状況について 〇令和2年度事業計画について 〇成年後見制度利用促進基本計画に係る市町村計画について 【第2回】 令和2年3月23日（月） たつの市 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面決議 〇令和元年度事業報告（R2.2.29現在） 〇令和2年度事業計画 〇令和2年度予算 〇市町村計画 イメージ図	弁護士 司法書士 社会福祉士 成年後見支援センター 4市3町担当課長・担当者

＜専門職相談＞

毎月1回、西播磨４市３町（相生市・赤穂市・宍粟市・たつの市・太子町・上郡町・佐用町）巡回で相談所を開設し、弁護士・司法書士・社会福祉士のいずれかの専門職が、個別の相談に応じます。

開催回数: 2回　　参加のべ人数: 5人

内　　容	担当スタッフ	参加人数
専門職相談　　宍粟防災センター 毎月1回、西播磨4市3町巡回で相談所を開設し、弁護士・司法書士・社会福祉士のいずれかの専門職が、個別の相談に応じます。	西播磨成年後見支援センター 司法書士 地域包括	5人

＜市民後見人養成＞

市民後見人養成・活動支援を目的に、基礎研修（3日間・相生市）・実践活動研修（5日間・各施設）・フォローアップ研修（3日間・相生市）を開催しました。宍粟市からは、平成30年度の受講者で未受講分の受講により研修の修了とバンク登録されたことで宍粟市では5名の方が市民後見人として登録されています。

②成年後見制度啓発事業

※平成29年度から通いの場づくり応援事業の講座の一つとして実施

開催回数: 2回　　参加のべ人数: 30人

内　　容	開催回数	参加人数
知って守ろう！自分の権利 日常生活自立支援事業と成年後見制度についての説明 講師:社会福祉士	2回	30人

開催回数: 1回　　参加のべ人数: 205人

内　　容	開催回数	参加人数
職員出前講座:知っておこう「成年後見制度」 やまさき文化大学の一般教養講座として文化大学生を対象に実施 講師:社会福祉士	1回	205人

＜年度別開催回数＞

内　　容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
成年後見制度の啓発を目的とした広報活動や教室	4回	4回	2回	3回	2回
成年後見制度研修会・講演会	0回	2回	0回	1回	1回

③老人福祉施設への入所支援

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、家族関係の希薄化などが影響していると思われる養護老人ホームへの入所相談が増えています。入所相談があった場合は、地域ケア個別会議を開催し、入所の必要性や地域での生活継続の可能性とそのための支援内容などを検討します。入所の方向性が決まれば入所支援や関係者との調整を行います。

内　　容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
養護老人ホーム入所申請数	7件	3件	8件	7件	2件
養護老人ホーム入所判定委員会開催回数	4回	1回	2回	4回	2回
養護老人ホーム入所判定委員会判定数	7件	3件	4件	7件	2件

(3)消費者被害防止啓発事業

振込み詐欺や悪質商法などから高齢者を守るための取組みです。被害者となりやすい高齢者のみ世帯が増えていることからも、積極的な取組みが必要です。

①ネットワーク会議

内　　容	参加機関
第1回 西播磨悪質商法等被害防止ネットワーク会議 令和元年9月11日(水)　西播磨総合庁舎 講演:「加齢による心理学的変化とは！？ ～高齢期を安全・安心に過ごすために～ 」 講師:川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科 教授　進藤貴子　氏	西播磨圏域地域包括支援センター 消費生活担当課 健康福祉事務所 警察生活安全課 弁護士会 司法書士会 消費生活センター 信用金庫
第2回西播磨悪質商法等被害防止ネットワーク会議 令和2年2月20日(木)　西播磨総合庁舎 欠席	

②啓発活動　※平成29年度から通いの場作り応援事業の講座の一つとして開催

開催回数: 2回　　参加のべ人数: 32人

内　　容	開催回数	参加人数
知ろう　学ぼう　消費者トラブル！ 消費者被害事例の紹介、悪質手口や詐欺への注意喚起について 講師:消費生活相談員	2回	32人

5.介護支援専門員活動支援事業

居宅介護支援事業所で活動している介護支援専門員の後方支援を行っています。

(1)介護支援専門員ネットワーク構築

宍粟市地域包括支援センター運営協議会に設置している介護支援専門員専門部会では、新任介護支援専門員の育成や地域ケア個別会議の開催支援に取り組んでいます。
その他、情報提供や研修会の実施などを通して、介護支援専門員の活動を支援しています。

会議名	内　　容	開催回数	参加人数
介護支援専門員専門部会 ※宍粟市地域包括支援センター運営協議会の専門部会として設置。居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員の代表による介護支援専門員への支援等の協議を行う。	部会 活動計画・研修会の企画・評価 ・介護保険制度の改正	4回	25人
	ワーキング部会 主任介護支援専門員の資質向上のための介護保険制度宍粟市ver.マニュアル作成検討	2回	12人
	研修会 講師:社会福祉法人関寿会 はちぶせの里　中野穣　氏 ①アセスメント及びニーズ把握について ②目標設定と居宅サービス計画書の作成 ③事例演習	3回	132人

しそうケアマネ会 ※地域包括支援センターの主任介護支援専門員は、介護支援専門員協会の活動を支援する。	運営委員会 事業計画・研修会企画・広報誌の発行	5回	49人
	研修会 ①災害時のケアマネジャーとしての動きと事務所としての対応 講師：兵庫県介護支援専門員協会常任理事 甲斐　加津代氏 ②薬剤師の在宅医療について 講師：宍粟市薬剤師会会長　縣俊孝　氏 グループディスカッション 「医療と介護の連携のため～薬剤師と共に地域包括ケアを目指して」	2回	85人
	総会 兵庫県介護支援専門員協会宍粟支部	1回	34人
ケアマネ連絡会 ※介護支援専門員の活動支援の情報提供や事例検討を行う。	波賀 ・訪問看護について ・災害マップ作成 ・デイサービス、ミニデイサービス見学 ・高齢者虐待について ・日常生活自立支援事業について ・自立支援プラン作成（研修会の振り返り）	10回	77人
	千種 ・情報交換 ・研修（地域の特性、地域課題、認知について）	11回	68人

（2）ケアマネジメント支援

地域包括支援センターの主任介護支援専門員は、ネットワークの活用や日常的な相談、介護支援計画作成や評価表への助言等、介護支援専門員の活動内容に応じた支援を行なっています。

①支援区分別活動実績

支援区分	内　　容	実施件数
介護支援専門員のネットワークの活用	介護支援専門員等の日常的な業務を支援するために介護支援専門員のネットワークを活用する。 （※しそうケアマネ会運営委員会を計上）	5件
日常的個別指導・相談	訪問・来所・電話等で介護支援専門員に実施した助言等を計上する。	1,409件
支援困難事例への指導助言	処遇困難事例として介護支援専門員に実施したのべ件数を計上する。	108件
サービス担当者会議への参加	地域包括支援センター・保健福祉課の職員が、直接参加したサービス担当者会議を計上する。	653件
支援計画作成支援	介護予防サービス・支援計画表、介護予防支援・サービス評価表への助言等を計上する。	613件

＜年度別実績＞

支援区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護支援専門員のネットワークの活用	9件	8件	6件	8件	5件
日常的個別指導・相談	1,803件	1,889件	1,691件	1,449件	1,409件
支援困難事例への指導助言	56件	109件	57件	77件	108件
サービス担当者会議への参加	394件	429件	616件	633件	653件
支援計画作成支援	764件	749件	682件	514件	613件

②宍粟市地域包括支援センターケアマネジャー勉強会

宍粟市地域包括支援センターに属し、介護予防ケアマネジメント業務に従事する介護支援専門員を対象とした研修会を実施しました。地域包括支援センターの介護支援専門員は、「居宅介護予防支援、介護予防ケアマネジメント（Ａ及びＢ）を担当しています。

実施回数: 9回　　参加のべ人数: 69人

内　　容	参加人数
【第1回】 令和元年7月17日（水）　市役所北庁舎 ①ケアマネジャー業務について意見交換 ②介護予防支援の基準について ③今年度の勉強会の進め方について検討	6人
【第2回】 令和元年8月1日（水）　市役所北庁舎 ①福祉用具の貸与について ②介護予防ケアマネジメントについて	6人
【第3回】 令和元年9月2日（月）　市役所北庁舎 ①介護保険に基づく住宅改修について ②人生いきいき住宅改修助成事業について ③宍粟市地域支援事業実施要綱の一部改正について ④介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業委託契約書について ⑤短時間通所サービス事業委託契約書について ⑥介護予防支援及び介護予防マネジメントに係る重要事項説明書について ⑦介護予防・日常生活支援総合事業単位数サービスコード表について	6人
【第4回】 令和元年10月2日（水）　市役所北庁舎 ①介護予防ケアマネジメント等のマニュアル作成 ②ケアマネジメント業務に関する意見交換	7人
【第5回】 令和元年11月1日（金）　市役所北庁舎 ①訪問看護制度の概要について 講師:宍粟市訪問看護ステーション　看護師長　荒尾和美　氏	9人

【第6回】 令和元年12月3日（火）　市役所北庁舎 ①日常生活自立支援事業について 講師：宍粟市社会福祉協議会 コミュニティーワーカー　山本めぐみ　氏 日常生活自立支援事業専門員　中野典子　氏	11人
【第7回】 令和2年1月14日（火）　市役所北庁舎 ①ケアマネジャーが知って得する高齢者のお口のことについて 講師：歯科衛生士　津村幸代　氏	8人
【第8回】 令和2年2月18日（火）　市役所北庁舎 ①介護予防ケアマネジメント等のマニュアル作成 ②事例検討	8人
【第9回】 令和2年3月17日（火）　市役所北庁舎 ①介護予防ケマネジメント等のマニュアル作成 ②自立支援サポート会議	8人

（3）指定居宅介護支援事業（介護予防マネジメント）

地域包括支援センターは平成18年度に要支援認定者の介護予防支援計画を作成するための事業所指定を受けています。地域包括支援センターのみでは多くの利用者に対応できないことから、市内外の居宅介護支援事業所に介護予防支援計画の作成を委託しています。

①委託先事業所数

居宅介護支援事業所委託数	内訳	
	市内	市外
31件	21件	10件

②介護予防支援計画作成数

地域包括支援センターに介護支援専門員6名を配置し、介護予防支援計画の作成等介護予防ケアマネジメントを担当しています。

＜要支援認定者及び事業対象者の人数＞※令和２年３月末現在（２号含む）

要支援1	要支援2	事業対象者	計
279人	365人	306人	950人

＜介護予防ケアマネジメント作成のべ件数＞※令和２年３月分（２号含む）

	件数	ケアプランの区分		作成担当		事業所所在地別	
		新規	継続	宍粟市	事業所委託	市内	市外
介護予防支援計画	349件	10件	339件	31件	318件	328件	21件
Aプラン	171件	4件	167件	19件	152件	168件	3件
Bプラン	226件	2件	224件	207件	19件	226件	0件
計	746件	16件	730件	257件	489件	722件	24件
割合	―	2.1%	97.9%	34.5%	65.5%	96.8%	3.2%

※介護予防支援計画は総合事業以外のサービスも利用する場合のケアプラン

※Aプランは総合事業の通所型サービス・訪問型サービスのみ利用する場合のケアプラン

※Bプランは総合事業の短時間通所サービス(ミニデイ)を利用する場合のケアプラン

1. 高齢者の状況

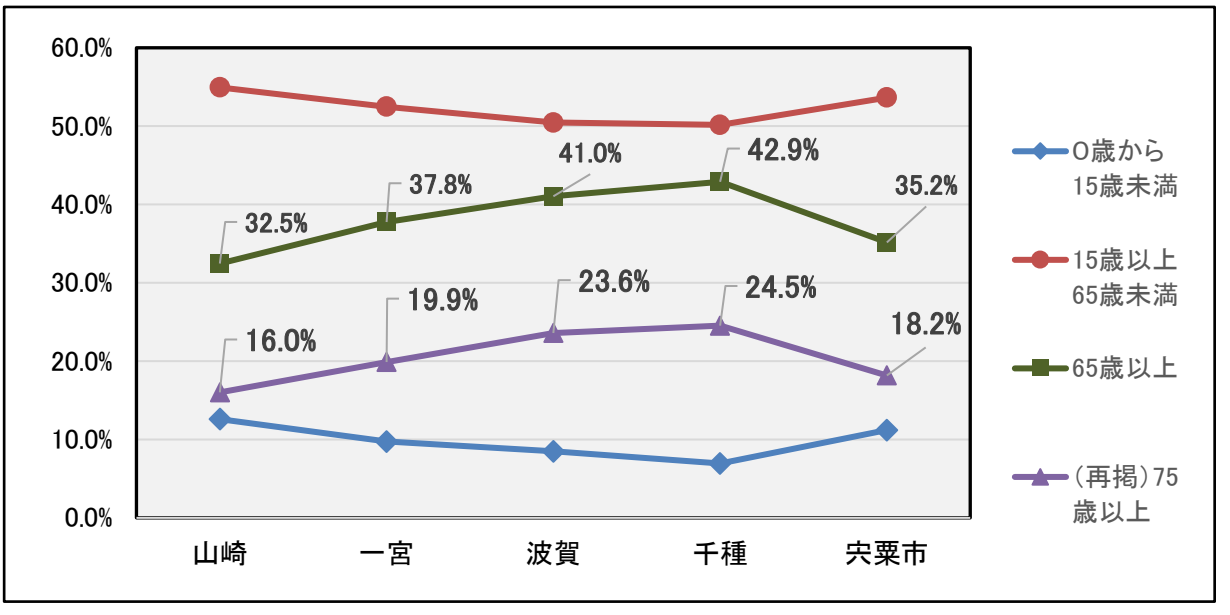
(1)人口・高齢化率 （令和2年3月31日現在）

中学校区	小学校区	人口	0歳から15歳未満		15歳以上65歳未満		65歳以上		(再掲)75歳以上	
			人口	率	人口	率	人口	率	人口	率
山崎西	山崎	6,529	802	12.3%	3,685	56.4%	2,042	31.3%	1,070	16.4%
	山崎西	2,702	234	8.7%	1,360	50.3%	1,108	41.0%	520	19.2%
山崎南	城下	4,458	651	14.6%	2,587	58.0%	1,220	27.4%	566	12.7%
	戸原	1,147	111	9.7%	602	52.5%	434	37.8%	222	19.4%
山崎東	河東	3,445	592	17.2%	1,929	56.0%	924	26.8%	443	12.9%
	神野	2,477	281	11.3%	1,349	54.5%	847	34.2%	398	16.1%
	伊水	1,411	172	12.2%	748	53.0%	491	34.8%	238	16.9%
	都多	865	59	6.8%	395	45.7%	411	47.5%	233	26.9%
一宮南	はりま一宮	4,774	490	10.3%	2,576	54.0%	1,708	35.8%	880	18.4%
一宮北	一宮北	3,060	274	9.0%	1,536	50.2%	1,250	40.8%	678	22.2%
波賀		3,467	294	8.5%	1,750	50.5%	1,423	41.0%	818	23.6%
千種		2,751	191	6.9%	1,380	50.2%	1,180	42.9%	675	24.5%
宍粟市		37,086	4,151	11.2%	19,897	53.7%	13,038	35.2%	6,741	18.2%

保健福祉圏域	人口	0歳から15歳未満		15歳以上65歳未満		65歳以上		(再掲)75歳以上	
		人口	率	人口	率	人口	率	人口	率
山崎	23,034	2,902	12.6%	12,655	54.9%	7,477	32.5%	3,690	16.0%
一宮	7,834	764	9.8%	4,112	52.5%	2,958	37.8%	1,558	19.9%
波賀	3,467	294	8.5%	1,750	50.5%	1,423	41.0%	818	23.6%
千種	2,751	191	6.9%	1,380	50.2%	1,180	42.9%	675	24.5%
宍粟市	37,086	4,151	11.2%	19,897	53.7%	13,038	35.2%	6,741	18.2%

※住民基本台帳による。

圏域別年代別人口の割合



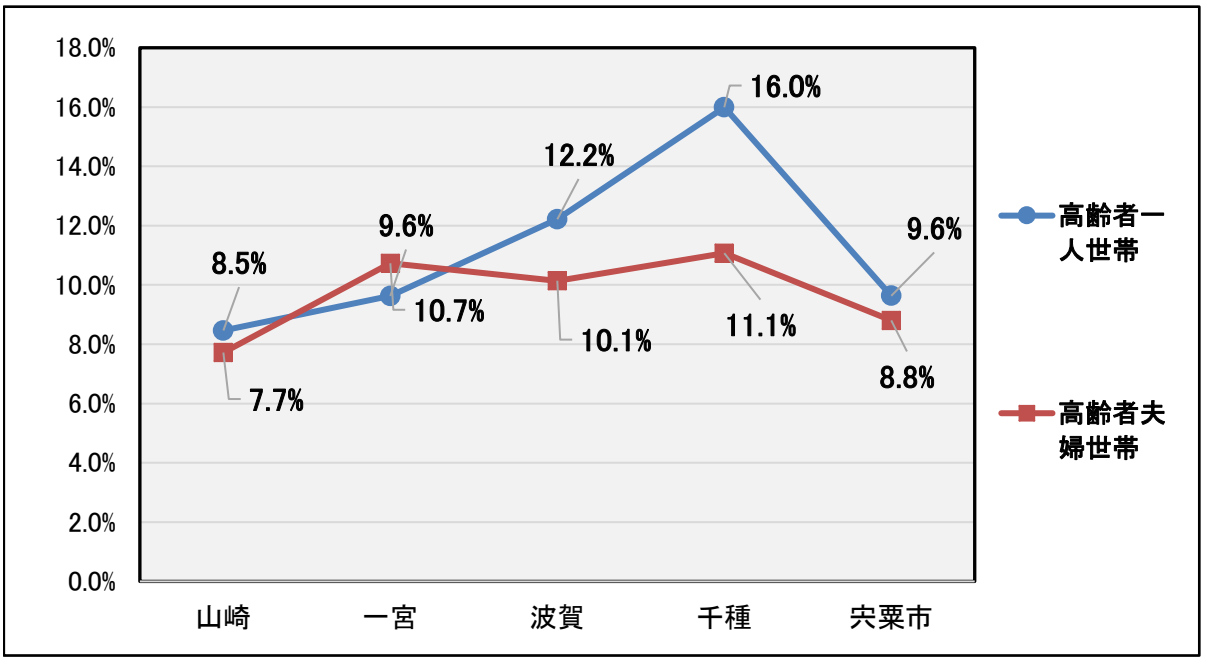
(2)世帯の状況　（令和2年3月31日現在）

中学校区	小学校区	世帯数	高齢者のいる世帯		高齢者一人世帯		高齢者夫婦世帯	
			世帯数	率	世帯数	率	世帯数	率
山崎西	山崎	2,790	1,416	50.8%	292	10.5%	211	7.6%
	山崎西	1,126	750	66.6%	111	9.9%	97	8.6%
山崎南	城下	1,781	835	46.9%	125	7.0%	118	6.6%
	戸原	449	285	63.5%	37	8.2%	40	8.9%
山崎東	河東	1,258	622	49.4%	74	5.9%	75	6.0%
	神野	943	549	58.2%	64	6.8%	82	8.7%
	伊水	540	324	60.0%	35	6.5%	46	8.5%
	都多	387	291	75.2%	47	12.1%	47	12.1%
一宮南	はりま一宮	1,748	1,144	65.4%	147	8.4%	172	9.8%
一宮北	一宮北	1,150	831	72.3%	132	11.5%	139	12.1%
波賀	波賀	1,400	961	68.6%	171	12.2%	142	10.1%
千種	千種	1,138	837	73.6%	182	16.0%	126	11.1%
合　計		14,710	8,845	60.1%	1,417	9.6%	1,295	8.8%

※人口・世帯数及び高齢者のいる世帯は、住民基本台帳による。
　高齢者一人世帯及び高齢者夫婦世帯は、高齢者実態把握事業による。

保健福祉圏域	世帯数	高齢者のいる世帯		高齢者一人世帯		高齢者夫婦世帯	
		世帯数	率	世帯数	率	世帯数	率
山崎	9,274	5,072	54.7%	785	8.5%	716	7.7%
一宮	2,898	1,975	68.2%	279	9.6%	311	10.7%
波賀	1,400	961	68.6%	171	12.2%	142	10.1%
千種	1,138	837	73.6%	182	16.0%	126	11.1%
宍粟市	14,710	8,845	60.1%	1,417	9.6%	1,295	8.8%

圏域別高齢者世帯の状況



(3)人口・世帯の推移

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成30年	令和元年
総人口	47,685	45,460	43,302	40,938	37,773	37,709	37,086
65歳以上人口	9,667	10,606	11,132	11,369	12,118	12,938	13,038
総人口に占める割合	20.3%	23.3%	25.7%	27.8%	32.1%	34.3%	35.2%
75歳以上人口	4,048	4,625	5,667	6,412	6,365	6,679	6,741
総人口に占める割合	8.5%	10.2%	13.1%	15.7%	16.9%	17.7%	18.2%
総世帯数	12,784	12,989	13,069	13,174	14,552	14,645	14,710
高齢者のいる世帯数	6,692	7,193	7,380	8,072	8,630	8,777	8,845
総世帯に占める割合	52.3%	55.4%	56.5%	61.3%	59.3%	59.9%	60.1%
高齢者一人世帯	710	906	1,043	1,055	1,212	1,330	1,417
総世帯に占める割合	5.6%	7.0%	8.0%	8.0%	8.3%	9.1%	9.6%
高齢者夫婦世帯	788	1,007	1,190	1,021	1,057	1,141	1,295
総世帯に占める割合	6.2%	7.8%	9.1%	7.8%	7.3%	7.8%	8.8%

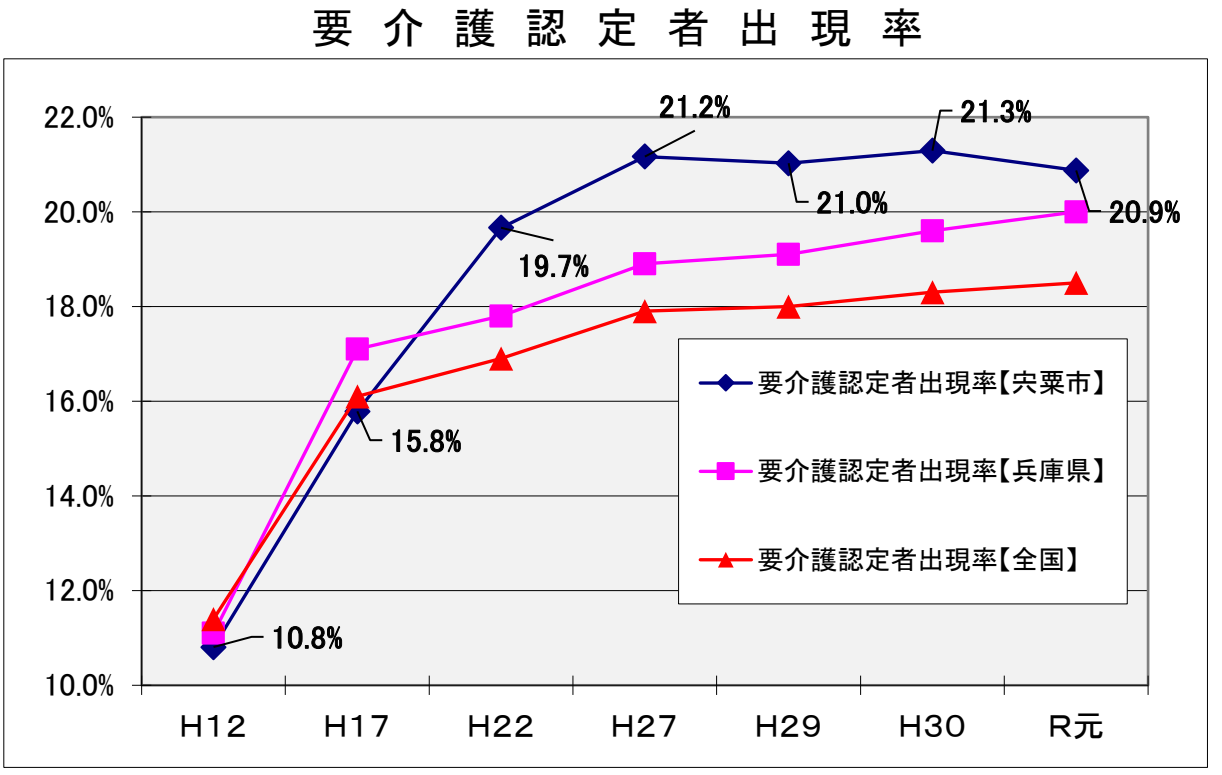
※平成7年～平成27年は国勢調査、平成30年・令和元年は各年度末の住民基本台帳による。
高齢者一人世帯・高齢者夫婦世帯は、すべて高齢者実態把握事業による。

2. 介護認定の状況

(1)要介護認定者出現率(第1号被保険者に対する割合)の推移

年度	H12	H17	H22	H27	H29	H30	R元
第1号被保険者数(65歳以上)	10,817	11,288	11,417	12,505	12,783	12,915	13,011
要支援	120	244					
要支援1			141	298	260	274	277
要支援2			296	337	373	372	356
要介護1	292	524	380	540	492	511	506
要介護2	242	302	464	509	534	518	507
要介護3	184	256	318	343	401	388	398
要介護4	182	224	307	322	331	387	383
要介護5	149	232	339	298	297	300	289
計	1,169	1,782	2,245	2,647	2,688	2,750	2,716
要介護認定者出現率【宍粟市】	10.8%	15.8%	19.7%	21.2%	21.0%	21.3%	20.9%
要介護認定者出現率【兵庫県】	11.1%	17.1%	17.8%	18.9%	19.1%	19.6%	20.0%
要介護認定者出現率【全国】	11.4%	16.1%	16.9%	17.9%	18.0%	18.3%	18.5%

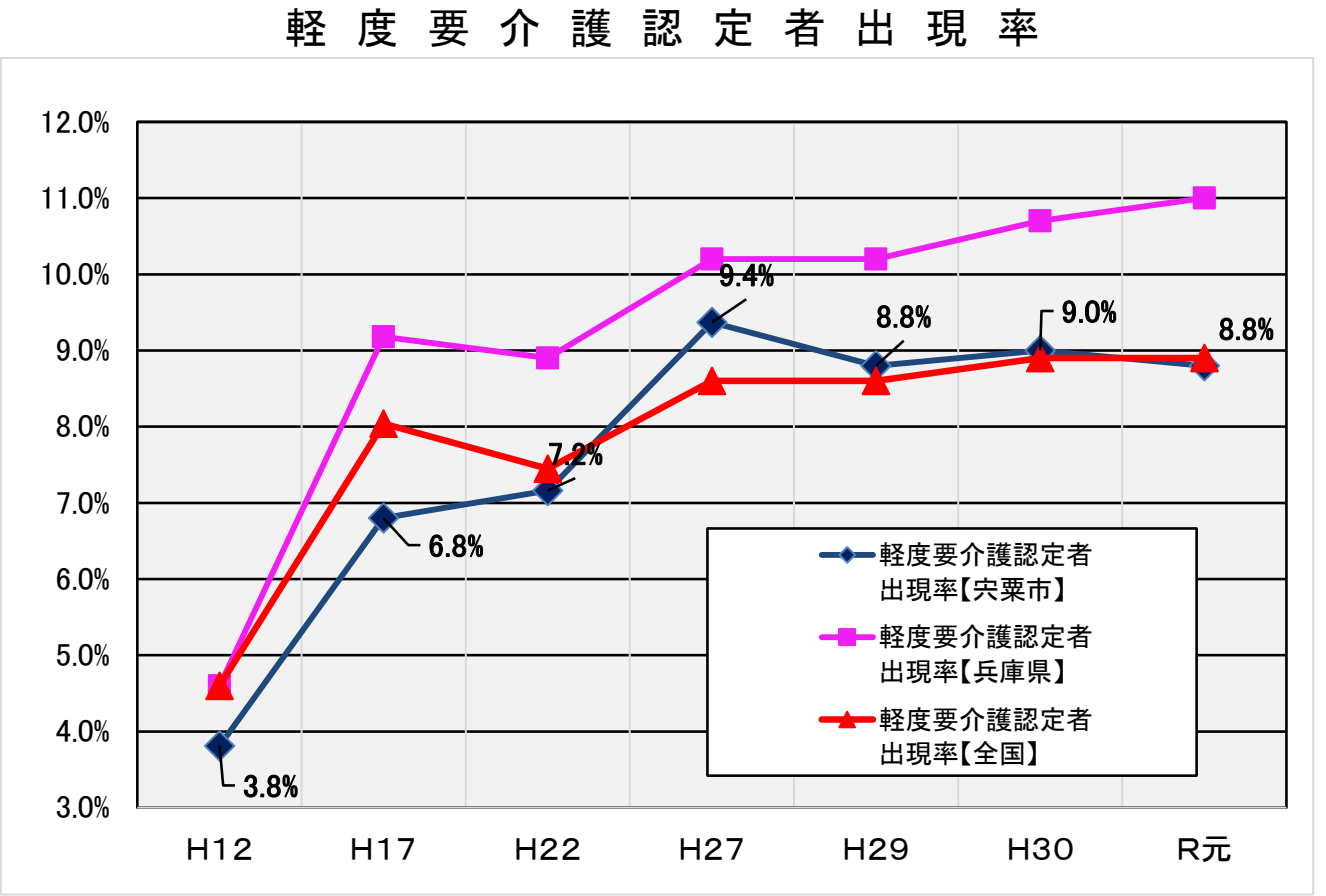
※要支援1・2の区分は、H18年度より改正される。
※介護保険事業状況報告月報は、その月の死亡者・住所地特例者などを含む。
※出現率は、厚生労働省ホームページの介護保険事業状況報告(各年度末時点)による。



(2)軽度要介護認定者出現率の推移

年度	H12	H17	H22	H27	H29	H30	R元
第1号被保険者数（65歳以上）	10,817	11,288	11,417	12,505	12,783	12,915	13,011
要支援	120	244					
要支援1			141	298	260	274	277
要支援2			296	337	373	372	356
要介護1	292	524	380	540	492	511	506
計	412	768	817	1,175	1,125	1,157	1,139
軽度要介護認定者出現率【宍粟市】	3.8%	6.8%	7.2%	9.4%	8.8%	9.0%	8.8%
軽度要介護認定者出現率【兵庫県】	4.6%	9.2%	8.9%	10.2%	10.2%	10.7%	11.0%
軽度要介護認定者出現率【全国】	4.6%	8.0%	7.5%	8.6%	8.6%	8.9%	8.9%

※要支援1・2の区分は、H18年度より改正される。
※介護保険事業状況報告月報は、その月の死亡者・住所地特例者などを含む。
※出現率は、厚生労働省ホームページの介護保険事業状況報告（各年度末時点）による。



(3)新規認定者の状況

新規認定者数は、年間の審査件数を集計しています。
新規認定者数の年次推移は、介護予防事業の事業効果を評価する資料になります。

【1】認定区分別

	H28年度		H29年度		H30年度		R元年度	
	第1号被保険者	第2号被保険者	第1号被保険者	第2号被保険者	第1号被保険者	第2号被保険者	第1号被保険者	第2号被保険者
要支援1	102	2	124	5	119	3	120	0
要支援2	81	2	102	3	85	2	85	4
要介護1	160	1	164	5	174	10	135	1
要介護2	65	3	70	5	78	4	72	1
要介護3	49	1	37	0	42	1	41	2
要介護4	39	1	43	6	49	3	37	4
要介護5	39	1	38	4	38	3	30	3
非該当	3	0	9	0	7	1	7	0
合計	538	11	587	28	592	27	527	15
前年比	92.9%	61.1%	109.1%	254.5%	100.9%	96.4%	89.0%	55.6%

※宍粟市介護保険事業システムによる。

【2】年齢別（非該当を除く）

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
65歳未満	11	32	31	15
65～69	45	32	48	38
70～74	55	62	55	64
75～79	103	99	97	91
80～84	157	151	137	131
85～89	115	149	166	122
90歳以上	60	81	77	74
合計	546	606	611	535

※宍粟市介護保険事業システムによる。

【3】第2号被保険者の特定疾病別人数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
脳血管疾患	2	6	10	5
糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	0	5	1	0
パーキンソン病関連疾患	1	1	1	1
がん（末期）	6	7	9	9
両側の膝関節又は股関節に著しい障害を伴う変形性関節症	0	2	1	0
脊柱管狭窄症	0	1	3	0
関節リウマチ	0	1	0	0
初老期における認知症	0	0	0	0
筋萎縮性側索硬化症	0	0	0	0
骨折を伴う骨粗鬆症	0	0	1	0
多系統萎縮症	0	1	0	0
慢性閉塞性肺疾患	2	2	0	0
後縦靭帯骨下症	0	1	0	0
脊髄小脳変性症	0	1	0	0
合計	11	28	26	15

※宍粟市介護保険事業システムによる。

(4)要介護認定者の圏域別状況

圏域	中学校区	人口	高齢者人口	高齢化率	※参考数値	
					認定者数	認定率
山崎	山崎西	9,231	3,150	34.1%	640	20.3%
	山崎南	5,605	1,654	29.5%	322	19.5%
	山崎東	8,198	2,673	32.6%	543	20.3%
	計	23,034	7,477	32.5%	1,505	20.1%
一宮	一宮南	4,774	1,708	35.8%	333	19.5%
	一宮北	3,060	1,250	40.8%	304	24.3%
	計	7,834	2,958	37.8%	637	21.5%
波賀	波賀	3,467	1,423	41.0%	293	20.6%
千種	千種	2,751	1,180	42.9%	286	24.2%
計		37,086	13,038	35.2%	2,721	20.9%

※認定率＝
認定者数÷高齢者人口

※人口は住民基本台帳による。

※認定者数（65歳以上）は、令和2年4月に宍粟市健康管理システムより令和2年3月末現在認定期間が含まれる人を抽出したため、月報とは差がある。

(5)第1号・第2号被保険者の要介護認定者数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R元
第1号（65歳以上）認定者数	2,647	2,696	2,688	2,735	2,716
第2号（40歳～64歳）認定者数	60	53	52	54	46
計	2,707	2,749	2,740	2,789	2,762

※厚労省ホームページの介護保険事業状況報告による。

(6)第2号被保険者の要介護認定状況

圏域	山崎圏域	一宮圏域	波賀圏域	千種圏域	計
認定者数	20	15	4	7	46

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数	2	9	5	8	7	7	8	46

年代	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	計
認定者数	2	22	22	46

※認定者数（40～64歳）は令和2年4月に宍粟市健康管理システムより、令和2年3月末現在認定期間が含まれる人を抽出したため、月報とは認定者数に差がある。

(7)要介護認定者と事業対象者の障害区分別人数

要介護認定者（第１号被保険者・第２号被保険者）と事業対象者を認知症高齢者の日常生活自立度と、障害高齢者の日常生活自立度により区分した人数です。

動ける認知症とは、高齢者の日常生活自立度（Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・M）かつ障害高齢者の日常生活自立度（自立・Ｊ・Ａ）に該当する人です。認定者のうち、動ける認知症に該当する人は847人、そのうち在宅で生活している高齢者は630人（847人の74.4%）を占めます。

認知症高齢者自立度	なし		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ～M		計	
	認知症なし		物忘れあるが、日常生活は、ほぼ自立		物忘れあるが、支援すれば自立できる		物忘れあり、介護が必要			
障害高齢者自立度	人数	うち在宅再掲	人数	うち在宅再掲	人数	うち在宅再掲	人数	うち在宅再掲	人数	うち在宅再掲
自立・J 生活自立	437	419	274	280	194	180	52	44	957	923
A 準寝たきり	282	268	407	368	317	235	284	171	1,290	1,042
B・C 寝たきり	68	59	149	92	164	87	445	122	826	360
計	787	746	830	740	675	502	781	337	3,073	2,325

※宍粟市健康管理システムによる。
その月の死亡者・住所地特例者などを含む介護保険事業月報とは数値が異なる。